○福岡女学院大学学則

1990（平２）年４月１日
制定
最終改正　2023（令和５）年３月24日

第１章　目的

第１条　本学はキリスト教に基づく福岡女学院創立の精神に則り、神を畏れ奉仕に生きるよき社会人としての女性を育成するために、教育基本法及び学校教育法に従って、深く専門の学芸に関する教育・研究を行うことを目的とする。

第２条　本学に人文学部、人間関係学部及び国際キャリア学部を置く。

人文学部は、建学の精神に基づく人格教育を基に、広い教養と深い学問とともに、実践的実務能力を併せ持った現代社会の要請に応え得る女性の育成を目的とする。

人間関係学部は、建学の精神に基づき、人とそのつながりについての幅広い教養と深い専門性をもって、自立的に社会貢献に取り組む女性の育成を目的とする。

国際キャリア学部は、国際語としての英語の役割に焦点を当て、高度な英語コミュニケーション能力を使って社会に貢献できる人材を育成する。そのために複言語主義の理念に立ち、言語や文化の違いを超えて人と共存できる柔軟な思考力と国際舞台で通用する創造的なキャリア観の育成を目的とする。

第２条の２　人文学部に現代文化学科、言語芸術学科及びメディア・コミュニケーション学科を置く。

現代文化学科は、文化をキーワードに、歴史と現在のつながりや地域と地域のつながりについて幅広く知識を習得するとともに、現代社会の諸問題について深く思考をめぐらせ、諸問題の解決を通じて社会の発展に貢献する人材の育成を目的とする。

言語芸術学科は、日本語及び英語による言語能力の育成、学際的教育の実践並びに体験重視の全人的教育を通して、創造的な思考力を身に付け、文化を社会に発信できる実践力を持った人材の育成を目的とする。

メディア・コミュニケーション学科は、メディア、コミュニケーション及びデザインに関する知識、実態、技術などを習得し、現代社会を動かしている出来事について主体的に判断し、社会に積極的にかかわり、様々な知識と表現方法を使って、よりよい社会を創っていく人材の育成を目的とする。

第２条の３　人間関係学部に心理学科と子ども発達学科を置く。

心理学科は、心理学及び周辺領域の体系的かつ広範な学修を通じて、自らが成長し続け、変容する社会と共に生きることのできる人材の育成を目的とする。

子ども発達学科は、子どもの発達に関する専門的知識と理解の学修を通じて、子どもを包括的に支援するための人材の育成を目的とする。

第２条の４　国際キャリア学部に国際英語学科及び国際キャリア学科を置く。国際英語学科は、国際語としての英語研究を通して、グローバルな視点から世界を理解し、高度な英語力と専門知識を使って社会に貢献できる人材を育成する。

国際キャリア学科は、国際舞台で協働できる行動力と創造性を備え、高度な英語コミュニケーション力と国際関係に関する知識を生かして社会に貢献できる人材を育成する。

## 第２章　学生定員及び修業年限

第３条　入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

| 学部 | 学科 | コース | 入学定員（名） | 編入学定員（名） | 収容定員（名） |
|---|---|---|---|---|---|
| 人文学部 | 現代文化学科 | ― | 105 | 5 | 430 |
| | 言語芸術学科 | 言語芸術コース | 40 | 2 | 164 |
| | | 英語教職コース | 10 | ― | 40 |
| | メディア・コミュニケーション学科 | ― | 50 | 2 | 204 |
| 人間関係学部 | 心理学科 | ― | 100 | 4 | 408 |
| | 子ども発達学科 | ― | 105 | 4 | 428 |
| 国際キャリア学部 | 国際英語学科 | ― | 60 | 2 | 244 |
| | 国際キャリア学科 | ― | 90 | 3 | 366 |
| 合計 | | | 560 | 22 | 2,284 |

第４条　修業年限は４年とする。

第５条　学生は８年を越えて在学することはできない。ただし、第34条第１項の規定により入学した学生は、同条第２項により定められた在学すべき年数の２倍に相当する年数を超えて、在学することはできない。

２　前項の規定にかかわらず、長期履修学生として認められた学生は、８年を越えて在学することができる。

第３章　学年、学期及び休業日

第６条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

第７条　学年を次の２学期に分ける。

(1)　前期　４月１日から９月30日まで

(2)　後期　10月１日から翌年３月31日まで

２　学長が特に必要と認めた場合は、前項に定める学期における授業の開始日及び終了日を変更することができる。

第８条　休業日を次のように定める。

(1)　日曜日

(2)　「国民の祝日に関する法律」に定める休日

(3)　創立記念日　５月18日

(4)　春期休業日　３月21日から３月31日まで

(5)　夏期休業日　８月１日から９月20日まで

(6)　冬期休業日　12月25日から１月７日まで

２　学長は必要に応じて前項の休業日を、臨時に変更することができる。

３　学長は必要ある場合、休業日に授業を行うことができる。

４　学長は特別の事情がある場合、第１項に定めるもののほか臨時休業日を定めることができる。

第８条の２　１年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第４章　教育課程、履修方法、単位及び卒業の認定

第９条　人文学部の授業科目の区分は、必修科目、選択科目及び自由科目とする。

２　人間関係学部の授業科目の区分は、必修科目、選択科目及び自由科目とする。

３　国際キャリア学部の授業科目の区分は、必修科目、選択科目及び自由科目とする。

第９条の２　各学部の授業科目の編成及びその単位数は、別表１のとおりとする。

２　教育職員免許状の取得に必要な教職に関する科目及びその単位数を別表２のとおり定める。

３　削除

４　削除

５　人間関係学部子ども発達学科の保育士の資格取得に必要な科目及びその単位数を別表６のとおり定める。

第10条　授業科目の単位計算方法は、大学設置基準第21条に定めるところに従い、次のとおりとする。

(1)　講義及び演習については、毎週２時間又は１時間15週をもって１単位とする。

(2)　実験、実習及び実技等については、毎週３時間又は２時間15週をもって１単位とする。

２　前項の規程にかかわらず、卒業研究などの授業科目については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これに必要な学習等を考慮して単位を定めることができる。

第11条　学生は、この学則及び別に定める履修規程に従って、在学中に所定の授業科目を124単位以上を修得しなければならない。

第12条　人文学部の授業科目の履修方法は、次のとおりとする。

(1)　現代文化学科

a　必修科目は、32単位を修得しなければならない。

b　選択必修科目は、４単位以上を修得しなければならない。

c　選択科目は、88単位以上を修得しなければならない。

(2)　言語芸術学科

イ　言語芸術コース

a　必修科目は、52単位を修得しなければならない。

b　選択科目は、72単位以上を修得しなければならない。

ロ　英語教職コース

a　必修科目は、82単位を修得しなければならない。

b　選択科目は、42単位以上を修得しなければならない。

(3)　メディア・コミュニケーション学科

a　必修科目は、42単位を修得しなければならない。

b　選択必修科目は、４単位以上を修得しなければならない。

c　選択科目は、78単位以上を修得しなければならない。

２　人間関係学部の授業科目の履修方法は、次のとおりとする。

(1)　心理学科

a　必修科目は、40単位を修得しなければならない。

b　選択必修科目は、10単位以上を修得しなければならない。

c　選択科目は、74単位以上を修得しなければならない。

(2)　子ども発達学科

a　必修科目は、49単位を修得しなければならない。

b　選択科目は、75単位以上を修得しなければならない。

３　国際キャリア学部の授業科目の履修方法は次のとおりとする。

(1)　国際英語学科

a　必修科目は、58単位を修得しなければならない。

b　選択科目は、66単位以上を修得しなければならない。

(2)　国際キャリア学科

a　必修科目は、58単位を修得しなければならない。

b　選択科目は、66単位以上を修得しなければならない。

４　削除

５　削除

第12条の２　他学科、他学部の授業科目の履修方法及び修得単位の取り扱いについては、別にこれを定める。

第12条の３　授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

２　前項の授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

３　第１項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

４　メディアを利用して行う授業は、あらかじめ指定した日時にパソコンその他双方向の通信手段によって行う。

５　前項の授業を実施する授業科目については、履修規程において定める。

６　第１項の授業については、授業の方法、内容並びに１年間の授業計画をあらかじめ明示するものとする。

第13条　授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。試験は学年又は学期末に、その履修した科目について筆記、口述、論文、実技等によって行う。

２　授業科目の履修の手続き方法などは、別に履修規程でこれを定める。

第14条　試験は、履修規程で定めるところに従い、あらかじめ受講届けを提出して履修した授業科目に限り、受けることができる。

第15条　試験の成績は、AA、A、B、C、D、Fで表わし、AA、A、B、Cを合格とする。

第16条　病気その他やむを得ない理由のため試験を受けることができなかった者に対しては、追試験を行うことがある。

第17条　不合格になった科目について、別に定めるところにより再試験を行うことがある。

第18条　本学に４年（第34条第１項により入学した者については、第34条第２項により定められた在学すべき年数）以上在学し、第11条及び第12条に定める所定の単位数を修得した者については教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

２　削除

第19条　人文学部の卒業を認定した者に対しては、学士（人文学）、人間関係学部の卒業を認定した者に対しては、学士（人間関係学）、国際キャリア学部の卒業を認定した者に対しては、学士（国際英語）の学位を与え、卒業証書・学位記を授与する。

第20条　教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

２　教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

３　前２項の規程により、履修した授業科目について修得した単位は教授会の議に基づき、60単位を限度として認めることができる。

第21条　大学、短期大学を卒業、又は中途退学し、新たに本学の１年次に入学した学生の既修得単位について、教育上有益と認めるときは、これを本学において修得したものとして認定することができる。

２　教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

３　前２項の単位認定は、前条と合わせて60単位を限度としてこれを行う。

## 第５章　免許及び資格の取得

第22条　教育職員免許状を取得しようとする者は、第18条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、教育職員免許法並びに同施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

２　教育職員免許状の種類は、次のとおりとする。

(1)　人文学部

イ　現代文化学科　中学校教諭一種免許状　国語
高等学校教諭一種免許状　国語

ロ　言語芸術学科
英語教職コース　中学校教諭一種免許状　外国語（英語）
高等学校教諭一種免許状　外国語（英語）

(2)　人間関係学部

イ　心理学科　高等学校教諭一種免許状　公民

ロ　子ども発達学科　幼稚園教諭一種免許状
小学校教諭一種免許状
特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）

(3)　国際キャリア学部

イ　国際英語学科　中学校教諭一種免許状　外国語（英語）
高等学校教諭一種免許状　外国語（英語）

第22条の２　削除

第22条の３　人間関係学部子ども発達学科において保育士の資格を取得しようとする者は、第18条に規定する卒業の要件を充足し、かつ、児童福祉法施行規則に定める科目及び単位を修得しなければならない。

第22条の４　人文学部言語芸術学科において教育職員免許状を取得しようとする者の授業科目、単位及び履修方法については、別にこれを定める。

第23条　人文学部の日本語教員養成のための授業科目、単位、履修方法については、別にこれを定める。

２　人文学部、国際キャリア学部国際英語学科の児童英語教育指導員養成のための授業科目、単位、履修方法については、別にこれを定める。

## 第６章　入学、退学、除籍、休学、転学、転部、転科、留学、復学、再入学及び編入学

第24条　入学の時期は、学年の始めとする。ただし、編入学、再入学及び転入学については学期の始めとすることができる。

第25条　本学に入学にできる者は、次の各号のいずれかに該当する女子とする。

(1)　高等学校を卒業した者

(2)　通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3)　外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

(4)　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5)　文部科学大臣の指定した者

(6)　高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）に合格した者

(7)　その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

第26条　本学への入学を志望する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類及び写真を添えて、所定の期日までに願い出なければならない。

第27条　前条の入学志願者については、別に定めるところにより選考を行い、教授会の議を経て合格者を決定する。

第28条　前条の選考の結果に基づき、合格の通知を受けた者は、所定の期日までに誓約書、その他所定の書類を提出するとともに、入学金その他指定された納入金を納付しなければならない。

２　学長は前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

第29条　退学を希望する者は、その理由を記して、保証人連署のうえ、願書を学長に提出しなければならない。

第29条の２　次の各号のいずれかに該当する者は、教授会の議を経て、学長がこれを除籍することができる。

(1)　期限までに学費の納入を行わず、督促してもなお納付しない者

(2)　第５条に定める在学年限を超えた者

(3)　第31条第２項に定める休学期間を超え、なお復学できない者

(4)　その他除籍が必要と認められる者

第30条　疾病その他やむを得ない理由で、３ヶ月以上修学できない者は、保証人連署の上理由書を付して願い出、学長の許可を得て休学することができる。

２　疾病のため修学することが適当でないと認められる者について、学長は休学を命ずることができる。

第31条　休学期間は、１年以内とする。ただし特別の理由がある場合は、休学期間の延長を認めることができる。

２　休学期間は、通算して４年を越えることはできない。

３　休学期間は、第５条の在学期間には算入しない。

４　休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

第32条　他の大学に入学又は転入学を志願しようとする場合は、学長の許可を得なければならない。

２　転入学が決定した者は、第29条と同様の退学願を学長に提出しなければならない。

第32条の２　所属の学科から他の学科への転科を希望する者があるときは、選考の上転科を許可することがある。転部については別に定める。

２　前項の規定により、転科を許可された学生の既修得単位については、教授会の議に基づき転科先学科において修得したものとして認めることができる。

第33条　外国の大学で学修することを志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

２　前項の許可を得て留学した期間は、第18条に定める在学期間に含めることができる。

３　第20条の規定は、外国の大学又は短期大学へ留学する場合に準用する。

第34条　次の各号のいずれかに該当する者で、本学への入学（再入学、編入学）を志願する者があるときは、選考の上、相当年次に入学を許可することがある。

(1)　大学を卒業、又は退学した者及び除籍された者

(2)　短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者

(3)　学校教育法施行規則第92条の３に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校の課程を修了し又は卒業した者

２　前項の規定により入学を許可された者の既に履修した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、教授会の議を経て学長が決定する。

## 第７章　学費

第35条　入学志願者は、入学検定料として15,000円を納入しなければならない。

第36条　入学試験に合格した者は、入学金として210,000円を納入しなければならない。

第37条　授業料は年額725,000円とし、指定された期日までに指定された方法で納入しなければならない。

２　授業料の外、実験・実習費その他の必要な費用については別にこれを徴収する。

第38条　前期又は後期の中途において、復学又は入学した者は、復学又は入学した月から当該期末までの授業料等納入金を、復学又は入学した月に納入しなければならない。

第39条　学年の中途で卒業する見込みの者は、卒業する見込みの月までの授業料等納入金

を納入しなければならない。

第40条　前期又は後期の中途で退学する者は当該期分の授業料等納入金を納入しなければならない。

２　停学期間中の授業料等納入金はこれを徴収する。

第41条　休学期間中は、在籍料として年額120,000円を徴収する。ただし、留年学生は除くものとする。

２　前項の在籍料の取扱いについては、別に定める。

第42条　学費支弁の困難な者に対しては、その実情と学業成績とにより、一部を免除又は貸与することがある。

第43条　科目等履修生、聴講生、特別聴講生及び外国人留学生の入学検定料、入学金及び授業料等納付金については、別にこれを定める。

第44条　一旦納めた納入金は過誤によるもの以外は、一切返還しない。

## 第８章　賞罰

第45条　学生として表彰に価する行為があった者は、教授会の審議を経て、学長がこれを表彰することがある。

第46条　本学の学則又は諸規定に違反し、又は学生としての本分に反する行為があった者は、教授会の議を経て、学長が懲戒する。

２　前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

３　前項の退学処分は次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。

(1)　性行不良で改善の見込みがない者

(2)　学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者

(3)　正当の理由がなくて、出席常でない者

(4)　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第47条　削除

## 第９章　教職員の構成

第48条　本学に学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、その他必要な職員を置く。

## 第10章　教授会

第49条　本学及び福岡女学院大学短期大学部に共通の重要な事項を審議するために連合教授会を置く。

２　各学部に固有の重要な事項を審議するために学部教授会を置く。（以下、連合教授会

及び学部教授会をあわせて「教授会」という。）

３　削除

４　削除

第50条　削除

第51条　教授会の運営に関し、必要な事項は「福岡女学院大学教授会規程」に定める。

第11章　図書館

第52条　本学に附属図書館をおく。図書館に関する規定は別にこれを定める。

第12章　保健及び厚生施設

第53条　本学に保健室を置き、一般保健に関する業務及び応急処置を行う。

２　保健室に関する規定は別にこれを定める。

第54条　学生並びに教職員の健康管理のため、毎年健康診断を行う。

第13章　科目等履修生、聴講生、研究生、特別聴講生、外国人留学生及び長期履修学生

第55条　本学において、特定の授業科目の履修及び単位修得を志願する者があるときは、学生の授業に支障のない限り教授会において選考の上、科目等履修生として履修を許可することがある。

２　科目等履修生に関する規定は別にこれを定める。

第55条の２　本学において、特定の授業科目の聴講を志願する者があるときは、学生の授業に支障のない限り教授会において選考の上、聴講生として聴講を許可することがある。

２　聴講生に関する規定は別にこれを定める。

第55条の３　本学において、特定の事項について研究を行うことを希望する者があるときは、学生の指導及び研究に妨げのない限り、教授会において選考の上、研究生としてこれを許可することがある。

２　研究生に関する規定は別にこれを定める。

第56条　他の大学の学生で、本学において授業科目を履修することを志願する者があるときは、当該他大学との協議に基づき、特別聴講生として入学を許可することがある。

第57条　外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、かつ第25条各項のいずれかに相当する入学資格を有し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可する。

２　削除

第57条の２　本学に長期履修学生として入学を志願する者があるときは、教授会において

選考の上、入学を許可する。

２　長期履修学生に関する規定は別にこれを定める。

第14章　公開講座

第58条　地域社会における社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することがある。

２　前項の目的を達成するための機関は、地域・国際交流センターとする。

第15章　自己点検・評価

第59条　本学は、第１条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行う。

２　前項の点検及び評価に関する事項は、別に定める。

第16章　改廃

第60条　この学則の改正は、教授会の審議を得て理事会が行う。

附　則　1

１　削除

２　この学則は、1990（平２）年４月１日から施行する。

附　則　2

１　この改正学則は、1991（平３）年４月１日から施行する。ただし第22条および別表は1990（平２）年度第１年次入学学生から適用する。

２　第37条は、1991年度１年次生から適用する。

附　則　3

１　第３条、第９条、第10条、第18条、第19条の一部を改正し、1992（平４）年４月１日から施行する。ただし第37条は1992年度第１年次入学生および第３年次編入学生から適用する。

附　則　4

１　第25条、第36条、第37条の一部を改正し、1993（平５）年４月１日から施行する。ただし、第37条第１項は1993年度第１年次入学生および第３年次編入学生から適用する。

附　則　5

１　第11条、第17条、第18条、第21条第２項、第22条、第24条、第25条、第26条、第34条第２項、第36条、第37条、第43条、第46条第２項、第49条第２項、第50条第２項第２号、第３号、第５号、第52条、第55条、第58条第２項の一部を改正し、第９条、第12条の全文を改正し、第９条の２、第50条第２項第７号、第８号、第９号、第55条の２を新

設して、1994（平６）年４月１日から施行する。ただし、第36条、第37条については、1994（平６）年度第１年次入学生および1994年（平６）年度以降の編入学生から適用する。

2　1993（平５）年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附　則　6

1　第３条、第37条、第12条第２項別表４の一部を改正し、第８条の２を新設して、1995（平７）年４月１日から施行する。ただし、第37条については、1995（平７）年度第１年次入学生および1995（平７）年度以降の編入学生から適用する。

附　則　7

1　第37条の一部を改正し、第32条の２を新設して、1996（平８）年４月１日から施行する。ただし、第37条については、1996（平８）年度第１年次入学生および1996（平８）年度以降の編入学生から適用する。

2　第32条の２の適用において1996（平８）年度の転科については、1995（平７）年度にその選考を行うことができる。

附　則　8

1　第37条、第40条の一部を改正し、1997（平９）年４月１日から施行する。但し、第37条については、1997（平９）年度第１年次入学生および1997（平９）年度以降の編入学生から適用する。

附　則　9

1　第35条、第37条の一部を改正し、1998（平10）年４月１日から施行する。但し、1998（平10）年度第１年次入学生および1998（平10）年度以降の編入学生から適用する。

附　則　10

1　第２条、第３条、第８条、第９条、第９条の２、第10条、第11条、第19条、第20条の２、第22条、第32条の２、第37条、第48条、第49条、第50条の一部を改正し、新しく第９条第２項、第９条の２第４項、第10条第２項、第12条第２項、第50条第４項、第51条および第59条を設け、従来の第51条を第52条、第52条を第53条、第53条を第54条とし、従来の第54条を削除し、1999（平11）年４月１日から施行する。但し、第37条については、1999（平11）年度第１年次入学生および1999（平11）年度以降の編入学生から適用する。

附　則　11

1　第９条、第12条の一、二、３の一部を改正し、新しく第23条の２を設け、2000（平12）

年４月１日から施行する。但し、1999（平11）年度以前の入学生についてはなお従前の例による。

附　則　12

1　第10条第２項、第20条第２項、第21条第２項、第43条の一部を改正し、第20条第３項、第21条第３項を新設し、2000（平12）年４月１日から施行する。但し、第10条第２項は1999（平11）年４月１日以前の入学生についてはなお従前の例による。

附　則　13

1　第12条の２を新設し、2000（平12）年４月１日から施行する。

附　則　14

1　第２条、第３条、第９条の２第３項、第12条第１項第１号、第２号、第３項、第22条第２項第１号の一部を改正し、2001（平13）年４月１日から施行する。但し、2000（平12）年度以前の入学生についてはなお従前の例による。

附　則　15

1　第20条第２項、第21条第２項、第６章の標題、第25条第３号、第４号、第５号、第６号、第34条の一、第８章の標題、別表５の一部を改正し、第29条の２を新設、第47条の全部を削除し、2001（平13）年４月１日から施行する。

附　則　16

1　第22条の２を新設し、2002（平14）年４月１日から施行する。但し、第22条の２は1999（平11）年度第１年次入学生から適用する。

附　則　17

1　第９条の２第１項別表１の一部を改正し、2002（平14）年４月１日から施行する。

附　則　18

1　第２条、第３条、第11条、第12条第２項、第３項、第15条、第22条第２項第一号、第31条第１項、第12章の標題、第９条の２第１項別表１の一部を改正し、第５条第２項、第９条の２第５項、第12条第１項第三号、第22条の３、第57条の２を新設し、2003（平15）年４月１日から施行する。

附　則　19

1　第９章、第10章、第11章、第12章、第13章、第14章の標題、第48条、第49条、第50条、第51条、別表１、別表３、別表４の一部を改正し、第15章、第16章、第60条を新設し、附則①の１を削除し、2004（平16）年４月１日から施行する。

附　則　20

1　第12条、第13章の標題、別表１、別表４の一部を改正し、第55条の３を新設し、2005（平17）年４月１日から施行する。

附　則　21

1　本改正学則は、2005（平17）年４月１日から施行する。但し、第２条、第３条、第12条、第22条、別表１の学科名称変更（心理学科）については、2006（平成18）年度一年次入学生から適用する。

附　則　22

1　本改正学則は、2007（平19）年４月１日から施行する。

附　則　23

1　本改正学則は、2008（平20）年４月１日から施行する。但し、別表１の一部改正については、2005（平17）年度以降入学生に適用する。

附　則　24

1　本改正学則は、2009（平21）年４月１日から施行する。

附　則　25

1　本改正学則は、2010（平22）年４月１日から施行する。

附　則　26

この学則は、2011（平23）年４月１日から施行する。

附　則　27

この学則は、2013（平25）年４月１日から施行する。ただし、2012（平24）年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附　則　28

（施行期日及び適用区分）

この学則は、2014（平26）年４月１日から施行する。ただし、2013（平25）年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附　則　29

（施行期日）

1　この学則は、2015（平27）年４月１日から施行する。

（適用区分）

2　改正後の第22条第２項第２号イ並びに別表１及び別表２（第９条の２第２項関係　特支一種）の規定は、2015年度入学生から適用し、2014（平26）年度以前の入学生については、なお従前の例による。

3　改正後の別表２（第９条の２第２項関係　小一種）の規定は、2012（平24）年度入学生から適用する。

附　則　30

（施行期日）

1　この学則は、2016（平28）年４月１日から施行する。

（適用区分）

2　第35条は2016年度入試から適用する。

3　改正後の別表１の規定は、2016（平28）年度入学生から適用し、2015（平27）年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附　則　31

（施行期日）

1　この学則は、2018（平30）年４月１日から施行する。

（適用区分）

2　改正後の第12条第２項、第３項並びに別表１及び別表２（第９条の２第２項関係　中一種・高一種）の規定は、2018（平30）年度入学生から適用し、2017（平29）年度以前の入学生については、なお従前の例による。

附　則　32

（施行期日）

1　この学則は、2019(平31)年4月1日から施行する。

（適用区分）

2　第９条第３項並びに別表３（第９条の２第３項関係）及び第12条第４項並びに別表４（第12条第４項関係）を削除し、改正後の第12条第１項から第３項並びに別表１及び別表２（第９条の２第２項関係　中一種・高一種、幼一種、小一種）、別表６（第９条の２第５項関係）の規定は、2019（平31）年度入学生から適用し、2018（平30）年度以前の入学生については、なお従前の例による。

ただし、2019（平31）年度及び2020（平32）年度第３年次編入学者についての別表１は従前の例とし、別表２（第９条の２第２項関係　中一種・高一種、幼一種、小一種）については、大学教職課程履修内規によるものとする。

附　則　33

この学則は、2020（令和２）年４月１日から施行する。

附　則　34

（施行期日）

1　この学則は2020（令和２）年５月29日から施行する。

（適用区分）

2　第35条の規定は、2021（令和３）年度入学志願者から適用する。

附　則　35

（施行期日）

1　この学則は、2021（令和３）年４月１日から施行する。

附　則　36

この学則は、2022（令和４）年４月１日から施行する。

附　則　37

この学則は、2023（令和５）年４月１日から施行する。

別表１（第９条の２第１項関係）

１　人文学部

授　業　科　目　及　び　単　位　数

（１）現代文化学科

（必修32単位、選択必修4単位以上、選択88単位以上、計124単位以上修得のこと）

| | 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 必修科目 | 【基盤教育科目　キリスト教科目群】 | | | |
| | 福岡女学院学 | 2 | | |
| | キリスト教の歴史 | 2 | | |
| | キリスト教人間学 | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| | First-year English AⅠ | 2 | | |
| | First-year English AⅡ | 2 | | １８単位必修 |
| | First-year English BⅠ | 2 | | |
| | First-year English BⅡ | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | 情報リテラシー | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅰ | 2 | | |
| | 【総合演習】 | | | |
| | スタディスキル | 2 | | |
| | アカデミックリテラシー | 2 | | |
| | 現代文化基礎演習 | 2 | | |
| | 現代文化演習Ⅰ | 2 | | １４単位必修 |
| | 現代文化演習Ⅱ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 2 | | |
| 選択必修科目 | 【専門教育科目】 | | | |
| | 観光文化論入門 | | 2 | ４単位以上 |
| | 交流文化論入門 | | 2 | 選択必修 |
| | 日本文化論入門 | | 2 | |
| 選択科目 | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | 選択科目は計88単位以上の履修とし、専門教育科目から44単位以上、残りは基盤教育科目、専門教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から修得すること。 |
| | Test Preparation | | 2 | |
| | Speaking Skills A | | 2 | |
| | Speaking Skills B | | 2 | |
| | Reading Skills A | | 2 | |
| | Reading Skills B | | 2 | |
| | Listening Skills | | 2 | |
| | Writing Skills | | 2 | |
| | Academic Reading A | | 2 | |
| | Academic Reading B | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | デジタルスキルズ A | | 2 | |
| | デジタルスキルズ B | | 2 | |
| | デジタルスキルズ C | | 2 | |
| | データサイエンス基礎 | | 2 | |
| | データサイエンス応用 | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅱ | | 2 | |
| | 女性のキャリア形成Ⅲ | | 2 | |
| | インターンシップ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　健康・スポーツ科学科目群】 | | | |
| | 健康・スポーツ科学理論 | | 2 | |
| | 健康・スポーツ科学実習A | | 1 | |
| | 健康・スポーツ科学実習B | | 1 | |
| | スポーツ実習 | | 1 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群】 | | | |
| | 中国語Ⅰ | | 2 | |
| | 中国語Ⅱ | | 2 | |
| | 中国語Ⅲ | | 2 | |
| | 中国語Ⅳ | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 韓国語Ⅰ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅱ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅲ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅳ | | 2 | |
| | フランス語Ⅰ | | 2 | |
| | フランス語Ⅱ | | 2 | |
| | フランス語Ⅲ | | 2 | |
| | フランス語Ⅳ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群（留学生用）】 | | | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅰ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅱ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　一般教育科目群】 | | | |
| | 哲学・倫理学入門 | | 2 | |
| | 日本国憲法 | | 2 | |
| | 社会学入門 | | 2 | |
| | 経済学入門（国際経済を含む） | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディA | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディB | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディC | | 2 | |
| | 歴史学入門 | | 2 | |
| | 生命科学入門 | | 2 | |
| | 環境科学入門 | | 2 | |
| | 政治学入門（国際政治を含む） | | 2 | |
| | 法学入門（国際法含む） | | 2 | |
| | 文化人類学入門 | | 2 | |
| | 多文化共生論 | | 2 | |
| | 国際関係論 | | 2 | |
| | 教育原論 | | 2 | |
| | 教育経営論 | | 2 | |
| | 教育心理学 | | 2 | |
| | 人権教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 障害児教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 児童文学（英語） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチA（欧米） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチB（アジア） | | 2 | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | プロジェクト演習Ⅰ | | 2 | |
| | プロジェクト演習Ⅱ | | 2 | |
| | プロジェクト演習Ⅲ | | 2 | |
| | ジェンダー文化論 | | 2 | |
| | 観光文化論Ａ（観光社会学） | | 2 | |
| | 観光文化論Ｂ（観光まちづくり論） | | 2 | |
| | 観光文化論Ｃ（文化遺産論） | | 2 | |
| | 観光文化論Ｄ（文化政策論） | | 2 | |
| | 観光文化論Ｅ（観光のまなざし） | | 2 | |
| | 観光文化論Ｆ（観光マネジメント論） | | 2 | |
| | 観光文化論Ｇ（観光産業論） | | 2 | |
| | 観光文化論Ｈ（航空産業論） | | 2 | |
| | 観光文化論Ｉ（マーケティング） | | 2 | |
| | 観光文化論Ｊ（都市と観光） | | 2 | |
| | 国内観光地理基礎 | | 2 | |
| | 国際観光地理基礎 | | 2 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 国内観光地理研究 | | 2 | | |
| | 国際観光地理研究 | | 2 | | |
| | 観光の英語ＡⅠ（旅行者英語） | | 2 | | |
| | 観光の英語ＡⅡ（旅行者英語） | | 2 | | |
| | 観光の英語ＢⅠ（実務者英語） | | 2 | | |
| | 観光の英語ＢⅡ（実務者英語） | | 2 | | |
| | 観光の韓国語（旅行者韓国語） | | 2 | | |
| | 旅行業務研究Ａ | | 2 | | |
| | 旅行業務研究Ｂ | | 2 | | |
| | 旅行業務研究Ｃ | | 2 | | |
| | 旅行業務研究Ｄ | | 2 | | |
| | 航空実務研究Ａ | | 2 | | |
| | 航空実務研究Ｂ | | 2 | | |
| | 交流文化論（アジアＡ） | | 2 | | |
| | 交流文化論（アジアＢ） | | 2 | | |
| | 交流文化論（ヨーロッパＡ） | | 2 | | |
| | 交流文化論（ヨーロッパＢ） | | 2 | | |
| | 交流文化論（イギリス） | | 2 | | |
| | 交流文化論（地中海） | | 2 | | |
| | 交流文化論（アメリカ） | | 2 | | |
| | 文化のダイナミクスＡ | | 2 | | |
| | 文化のダイナミクスＢ | | 2 | | |
| | 比較文化論Ａ（日本とアジア） | | 2 | | |
| | 比較文化論Ｂ（日本とヨーロッパ） | | 2 | | |
| | 比較文化論Ｃ（日本とアメリカ） | | 2 | | |
| | 比較文化論Ｄ（アジアとヨーロッパ） | | 2 | | |
| | 比較文化論Ｅ（芸術） | | 2 | | |
| | 比較文化論Ｆ（映画） | | 2 | | |
| | 比較文学論 | | 2 | | |
| | 中国文学 | | 2 | | |
| | イギリス文学の変遷Ⅰ | | 2 | | |
| | イギリス文学の変遷Ⅱ | | 2 | | |
| | アメリカ文学の変遷 | | 2 | | |
| | アメリカ文学作家研究 | | 2 | | |
| | イギリス文学Ⅰ | | 2 | | |
| | イギリス文学Ⅱ | | 2 | | |
| | アメリカ文学 | | 2 | | |
| | アメリカ文学作品研究 | | 2 | | |
| | キッズコミュニケーション | | 2 | | |
| | 児童英語教育法 | | 2 | | |
| | 児童英語指導法演習Ⅰ | | 2 | | |
| | 児童英語指導法演習Ⅱ | | 2 | | |
| | 児童英語フィールドワークⅠ | | 2 | | |
| | 児童英語フィールドワークⅡ | | 2 | | |
| | 旅の日本史 | | 2 | | |
| | 女性の日本史 | | 2 | | |
| | 日本文化論Ａ（思想） | | 2 | | |
| | 日本文化論Ｂ（伝統文化論） | | 2 | | |
| | 日本文化論Ｃ（現代社会論） | | 2 | | |
| | 日本文化論Ｄ（外国から見た日本） | | 2 | | |
| | 日本文化論Ｅ（華道技法） | | 2 | | |
| | 書道文化（技法） | | 2 | | |
| | 書道文化史 | | 4 | | |
| | 言語学概論 | | 2 | | |
| | 日本語学概論Ⅰ | | 2 | | |
| | 日本語学概論Ⅱ | | 2 | | |
| | 対照言語学 | | 2 | | |
| | 日本語史 | | 2 | | |
| | 日本語の構造 | | 2 | | |
| | 日本語の語彙・意味 | | 2 | | |
| | 日本語表現技法Ａ（文章） | | 2 | | |
| | 日本語表現技法Ｂ（音声） | | 2 | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 日本文学の発生 | | 2 | |
| | 日本文学の変遷 | | 2 | |
| | 現代文学論 | | 2 | |
| | 日本の文学（古典ＡⅠ） | | 2 | |
| | 日本の文学（古典ＡⅡ） | | 2 | |
| | 日本の文学（古典ＢⅠ） | | 2 | |
| | 日本の文学（古典ＢⅡ） | | 2 | |
| | 日本の文学（近現代Ⅰ） | | 2 | |
| | 日本の文学（近現代Ⅱ） | | 2 | |
| | 日本の文学（特講Ａ） | | 2 | |
| | 日本の文学（特講Ｂ） | | 2 | |
| | 漢文学Ⅰ | | 2 | |
| | 漢文学Ⅱ | | 2 | |
| | 漢文学Ⅲ | | 2 | |
| | 児童日本語教育法 | | 2 | |
| | 日本語教育概論Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語教育概論Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語教材研究Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語教材研究Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語教授法演習Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語教授法演習Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語教育実習フィールドワーク | | 2 | |
| | 現代文化へのアプローチ | | 2 | |
| | エアライン研修 | | 2 | |
| | 空港研修 | | 2 | |
| | ホテル研修 | | 2 | |
| | フィールドワーク現代文化（日本） | | 2 | |
| | フィールドワーク現代文化（海外Ａ） | | 2 | |
| | フィールドワーク現代文化（海外Ｂ） | | 2 | |
| 自由科目 | 教師論 | | 2 | 共通開設 |
| | 特別支援教育 | | 2 | 共通開設 |
| | 教育課程論 | | 2 | 共通開設 |
| | 国語科教育法Ⅰ | | 2 | |
| | 国語科教育法Ⅱ | | 2 | |
| | 国語科教育法Ⅲ | | 2 | |
| | 国語科教育法Ⅳ | | 2 | |
| | 道徳教育の理論と指導法 | | 2 | 共通開設 |
| | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | | 2 | 共通開設 |
| | 教育方法論（ICTの活用含む） | | 2 | 共通開設 |
| | 生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む） | | 2 | 共通開設 |
| | 教育相談 | | 2 | 共通開設 |
| | 教育実習Ⅰ | | 1 | 共通開設 |
| | 教育実習ⅡＡ | | 4 | 共通開設 |
| | 教育実習ⅡＢ | | 2 | 共通開設 |
| | 教職実践演習（中・高） | | 2 | 共通開設 |
| | 学校インターンシップ | | 1 | 共通開設 |

（２） 言語芸術学科

（イ）言語芸術コース

（必修52単位、選択72単位以上、計124単位以上修得のこと）

| | 授　業　科　目 | 単位数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| | | 必修 | 選択 | |
| 必修科 | 【基盤教育科目　キリスト教科目群】 | | | |
| | 福岡女学院学 | 2 | | |
| | キリスト教の歴史 | 2 | | |
| | キリスト教人間学 | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| | First-year English AⅠ | 2 | | |
| | First-year English AⅡ | 2 | | １８単位必修 |
| | First-year English BⅠ | 2 | | |
| | First-year English BⅡ | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目 | 情報リテラシー | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅰ | 2 | | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | 百読百鑑 Ⅰ | 2 | | |
| | 日本語表現基礎Ⅰ | 2 | | |
| | 日本語表現基礎Ⅱ | 2 | | |
| | 英語トレーニング Ⅰ | 2 | | |
| | 英語トレーニング Ⅱ | 2 | | |
| | 英語発音スキル Ⅰ | 2 | | ２４単位必修 |
| | 英語発音スキル Ⅱ | 2 | | |
| | シンキングゲーム | 2 | | |
| | 百読百鑑 II | 2 | | |
| | テーマ・シンキング | 2 | | |
| | 百読百鑑 Ⅲ | 2 | | |
| | 百読百鑑 IV | 2 | | |
| | 【総合演習】 | | | |
| | 言語芸術基礎演習 | 2 | | |
| | 言語芸術演習Ⅰ | 2 | | １０単位必修 |
| | 言語芸術演習Ⅱ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 2 | | |
| 選 | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | 選択科目は計72単位以上の履修とし、専門教育科目から46単位以上、残りは基盤教育科目、専門教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から修得すること。 |
| | Test Preparation | | 2 | |
| | Speaking Skills A | | 2 | |
| | Speaking Skills B | | 2 | |
| | Reading Skills A | | 2 | |
| | Reading Skills B | | 2 | |
| | Listening Skills | | 2 | |
| | Writing Skills | | 2 | |
| | Academic Reading A | | 2 | |
| | Academic Reading B | | 2 | |
| 択 | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | デジタルスキルズ A | | 2 | |
| | デジタルスキルズ B | | 2 | |
| | デジタルスキルズ C | | 2 | |
| 科 | データサイエンス基礎 | | 2 | |
| | データサイエンス応用 | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅱ | | 2 | |
| 目 | 女性のキャリア形成Ⅲ | | 2 | |
| | インターンシップ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　健康・スポーツ科学科目群】 | | | |
| | 健康・スポーツ科学理論 | | 2 | |
| | 健康・スポーツ科学実習A | | 1 | |
| | 健康・スポーツ科学実習B | | 1 | |
| | スポーツ実習 | | 1 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群】 | | | |
| | 中国語Ⅰ | | 2 | |
| | 中国語Ⅱ | | 2 | |
| | 中国語Ⅲ | | 2 | |
| | 中国語Ⅳ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅰ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅱ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅲ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅳ | | 2 | |
| | フランス語Ⅰ | | 2 | |
| | フランス語Ⅱ | | 2 | |
| | フランス語Ⅲ | | 2 | |
| | フランス語Ⅳ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群（留学生用）】 | | | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅰ | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 日本語の作文（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅰ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅱ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　一般教育科目群】 | | | |
| | 哲学・倫理学入門 | | 2 | |
| | 日本国憲法 | | 2 | |
| | 社会学入門 | | 2 | |
| | 経済学入門（国際経済を含む） | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディA | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディB | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディC | | 2 | |
| | 歴史学入門 | | 2 | |
| | 生命科学入門 | | 2 | |
| | 環境科学入門 | | 2 | |
| | 政治学入門（国際政治を含む） | | 2 | |
| | 法学入門（国際法含む） | | 2 | |
| | 文化人類学入門 | | 2 | |
| | 多文化共生論 | | 2 | |
| | 国際関係論 | | 2 | |
| | 教育原論 | | 2 | |
| | 教育経営論 | | 2 | |
| | 教育心理学 | | 2 | |
| | 人権教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 障害児教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 児童文学（英語） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチA（欧米） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチB（アジア） | | 2 | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | 異文化コミュニケーション | | 2 | |
| | 英語ボキャブラリー Ⅰ | | 2 | |
| | 英語ボキャブラリー II | | 2 | |
| | 初級英語音声学 | | 2 | |
| | 英文法I | | 2 | |
| | 英文法II | | 2 | |
| | 英語学概論 | | 2 | |
| | イギリス文学の変遷I | | 2 | |
| | イギリス文学の変遷II | | 2 | |
| | アメリカ文学の変遷 | | 2 | |
| | ポップカルチャー(国内) | | 2 | |
| | ポップカルチャー(海外) | | 2 | |
| | 映画研究(国内) | | 2 | |
| | 映画研究(海外) | | 2 | |
| | 日本文学I | | 2 | |
| | 日本文学II | | 2 | |
| | 英語圏児童文学A（小説・物語） | | 2 | |
| | 英語圏児童文学B（演劇） | | 2 | |
| | 英語圏児童文学C（詩歌） | | 2 | |
| | イギリス文学I | | 2 | |
| | イギリス文学II | | 2 | |
| | アメリカ文学 | | 2 | |
| | 映画と社会 | | 2 | |
| | 映画と児童文学 | | 2 | |
| | 日本語表現A(小説・物語) | | 2 | |
| | 日本語表現B(演劇) | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 日本語表現C(詩歌) | | 2 | |
| | 英語表現A(小説) | | 2 | |
| | 英語表現B(演劇) | | 2 | |
| | 英語表現C(詩歌) | | 2 | |
| | 英語文学・文化 | | 2 | |
| | 言語芸術とキリスト教（国内） | | 2 | |
| | 言語芸術とキリスト教　（海外） | | 2 | |
| | 批評A(演劇) | | 2 | |
| | 批評B(映画) | | 2 | |
| | 身体表現ワークショップ | | 2 | |
| | 音声表現実践 | | 2 | |
| | 舞台芸術Ａ（音響・照明） | | 2 | |
| | 舞台芸術Ｂ（スタッフワーク） | | 2 | |
| | 舞台芸術C（ダンス） | | 2 | |
| | 舞台制作I | | 2 | |
| | 舞台制作II | | 2 | |
| | プロダクション・マネージメントI | | 2 | |
| | プロダクション・マネージメントII | | 2 | |
| | 児童文学の翻訳・製本　Ⅰ | | 2 | |
| | 児童文学の翻訳・製本　Ⅱ | | 2 | |
| | 音で楽しむ日本語 | | 2 | |
| | 音で楽しむ英語 | | 2 | |
| | 国内フィールドワーク(理論) | | 2 | |
| | 国内フィールドワーク(実践) | | 4 | |
| | 海外フィールドワーク(理論) | | 2 | |
| | 海外フィールドワーク(実践) | | 4 | |
| | 博物館・美術館フィールドワーク | | 2 | |
| | 劇場フィールドワーク | | 2 | |
| | キッズコミュニケーション | | 2 | |
| | 児童英語教育法 | | 2 | |
| | 児童英語指導法演習Ⅰ | | 2 | |
| | 児童英語指導法演習Ⅱ | | 2 | |
| | 児童英語フィールドワークⅠ | | 2 | |
| | 児童英語フィールドワークⅡ | | 2 | |
| | 児童日本語教育法 | | 2 | |
| | 日本語教育概論Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語教育概論Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語教材研究Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語教材研究Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語教授法演習Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語教授法演習Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語教育実習フィールドワーク | | 2 | |
| | 言語芸術ワークショップ A | | 2 | |
| | 言語芸術ワークショップ B | | 2 | |
| | 言語芸術ワークショップ C | | 2 | |
| | 言語芸術フィールドワーク A | | 2 | |
| | 言語芸術フィールドワーク B | | 2 | |
| | 言語芸術フィールドワーク C | | 2 | |

（ロ）英語教職コース
（必修82単位、選択42単位以上、計124単位以上修得のこと）

| | 授　業　科　目 | 単　位　数 | | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|
| | | 必修 | 選択 | |
| | 【基盤教育科目　キリスト教科目群】 | | | |
| | 福岡女学院学 | 2 | | |
| 必 | キリスト教の歴史 | 2 | | |
| | キリスト教人間学 | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| 修 | First-year English AⅠ | 2 | | |
| | First-year English AⅡ | 2 | | １８単位必修 |
| | First-year English BⅠ | 2 | | |
| 科 | First-year English BⅡ | 2 | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目 | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | 情報リテラシー | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅰ | 2 | | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | 百読百鑑 Ⅰ | 2 | | |
| | 日本語表現基礎Ⅰ | 2 | | |
| | 日本語表現基礎Ⅱ | 2 | | |
| | 英語トレーニング Ⅰ | 2 | | |
| | 英語トレーニング Ⅱ | 2 | | |
| | 英語発音スキル Ⅰ | 2 | | ２４単位必修 |
| | 英語発音スキル Ⅱ | 2 | | |
| | シンキングゲーム | 2 | | |
| | 百読百鑑 II | 2 | | |
| | テーマ・シンキング | 2 | | |
| | 百読百鑑 Ⅲ | 2 | | |
| | 百読百鑑 IV | 2 | | |
| | 【英語教職科目】 | | | |
| | 英語ボキャブラリー Ⅰ | 2 | | |
| | 英語ボキャブラリー II | 2 | | |
| | 初級英語音声学 | 2 | | |
| | 英文法I | 2 | | |
| | 英文法II | 2 | | |
| | 英語学概論 | 2 | | |
| | イギリス文学の変遷I | 2 | | |
| | イギリス文学の変遷II | 2 | | ３０単位必修 |
| | アメリカ文学の変遷 | 2 | | |
| | イギリス文学I | 2 | | |
| | アメリカ文学 | 2 | | |
| | 英語表現A(小説) | 2 | | |
| | 英語表現B(演劇) | 2 | | |
| | 英語表現C(詩歌) | 2 | | |
| | 英語文学・文化 | 2 | | |
| | 【総合演習】 | | | |
| | 言語芸術基礎演習 | 2 | | |
| | 言語芸術演習Ⅰ | 2 | | １０単位必修 |
| | 言語芸術演習Ⅱ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 2 | | |
| 選択科目 | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | 選択科目は基盤教育科目、専門教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から42単位以上修得すること。 |
| | Test Preparation | | 2 | |
| | Speaking Skills A | | 2 | |
| | Speaking Skills B | | 2 | |
| | Reading Skills A | | 2 | |
| | Reading Skills B | | 2 | |
| | Listening Skills | | 2 | |
| | Writing Skills | | 2 | |
| | Academic Reading A | | 2 | |
| | Academic Reading B | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | デジタルスキルズ A | | 2 | |
| | デジタルスキルズ B | | 2 | |
| | デジタルスキルズ C | | 2 | |
| | データサイエンス基礎 | | 2 | |
| | データサイエンス応用 | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅱ | | 2 | |
| | 女性のキャリア形成Ⅲ | | 2 | |
| | インターンシップ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　健康・スポーツ科学科目群】 | | | |
| | 健康・スポーツ科学理論 | | 2 | |
| | 健康・スポーツ科学実習A | | 1 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 健康・スポーツ科学実習B | | 1 | |
| | スポーツ実習 | | 1 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群】 | | | |
| | 中国語Ⅰ | | 2 | |
| | 中国語Ⅱ | | 2 | |
| | 中国語Ⅲ | | 2 | |
| | 中国語Ⅳ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅰ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅱ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅲ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅳ | | 2 | |
| | フランス語Ⅰ | | 2 | |
| | フランス語Ⅱ | | 2 | |
| | フランス語Ⅲ | | 2 | |
| | フランス語Ⅳ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群（留学生用）】 | | | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅰ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅱ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　一般教育科目群】 | | | |
| | 哲学・倫理学入門 | | 2 | |
| | 日本国憲法 | | 2 | |
| | 社会学入門 | | 2 | |
| | 経済学入門（国際経済を含む） | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディA | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディB | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディC | | 2 | |
| | 歴史学入門 | | 2 | |
| | 生命科学入門 | | 2 | |
| | 環境科学入門 | | 2 | |
| | 政治学入門（国際政治を含む） | | 2 | |
| | 法学入門（国際法含む） | | 2 | |
| | 文化人類学入門 | | 2 | |
| | 多文化共生論 | | 2 | |
| | 国際関係論 | | 2 | |
| | 教育原論 | | 2 | |
| | 教育経営論 | | 2 | |
| | 教育心理学 | | 2 | |
| | 人権教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 障害児教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 児童文学（英語） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチA（欧米） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチB（アジア） | | 2 | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | 異文化コミュニケーション | | 2 | |
| | ポップカルチャー(国内) | | 2 | |
| | ポップカルチャー(海外) | | 2 | |
| | 映画研究(国内) | | 2 | |
| | 映画研究(海外) | | 2 | |
| | 日本文学I | | 2 | |
| | 日本文学II | | 2 | |
| | イギリス文学II | | 2 | |
| | 英語圏児童文学A（小説・物語） | | 2 | |
| | 英語圏児童文学B（演劇） | | 2 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 英語圏児童文学C（詩歌） | | 2 | | |
| | 映画と社会 | | 2 | | |
| | 映画と児童文学 | | 2 | | |
| | 日本語表現A(小説・物語) | | 2 | | |
| | 日本語表現B(演劇) | | 2 | | |
| | 日本語表現C(詩歌) | | 2 | | |
| | 言語芸術とキリスト教（国内） | | 2 | | |
| | 言語芸術とキリスト教　（海外） | | 2 | | |
| | 批評A(演劇) | | 2 | | |
| | 批評B(映画) | | 2 | | |
| | 身体表現ワークショップ | | 2 | | |
| | 音声表現実践 | | 2 | | |
| | 舞台芸術Ａ（音響・照明） | | 2 | | |
| | 舞台芸術Ｂ（スタッフワーク） | | 2 | | |
| | 舞台芸術C（ダンス） | | 2 | | |
| | 舞台制作I | | 2 | | |
| | 舞台制作II | | 2 | | |
| | プロダクション・マネージメントI | | 2 | | |
| | プロダクション・マネージメントII | | 2 | | |
| | 児童文学の翻訳・製本　Ⅰ | | 2 | | |
| | 児童文学の翻訳・製本　Ⅱ | | 2 | | |
| | 音で楽しむ日本語 | | 2 | | |
| | 音で楽しむ英語 | | 2 | | |
| | 国内フィールドワーク(理論) | | 2 | | |
| | 国内フィールドワーク(実践) | | 4 | | |
| | 海外フィールドワーク(理論) | | 2 | | |
| | 海外フィールドワーク(実践) | | 4 | | |
| | 博物館・美術館フィールドワーク | | 2 | | |
| | 劇場フィールドワーク | | 2 | | |
| | キッズコミュニケーション | | 2 | | |
| | 児童英語教育法 | | 2 | | |
| | 児童英語指導法演習Ⅰ | | 2 | | |
| | 児童英語指導法演習Ⅱ | | 2 | | |
| | 児童英語フィールドワークⅠ | | 2 | | |
| | 児童英語フィールドワークⅡ | | 2 | | |
| | 児童日本語教育法 | | 2 | | |
| | 日本語教育概論Ⅰ | | 2 | | |
| | 日本語教育概論Ⅱ | | 2 | | |
| | 日本語教材研究Ⅰ | | 2 | | |
| | 日本語教材研究Ⅱ | | 2 | | |
| | 日本語教授法演習Ⅰ | | 2 | | |
| | 日本語教授法演習Ⅱ | | 2 | | |
| | 日本語教育実習フィールドワーク | | 2 | | |
| | 言語芸術ワークショップ Ａ | | 2 | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 言語芸術ワークショップ B | | 2 | |
| | 言語芸術ワークショップ C | | 2 | |
| | 言語芸術フィールドワーク A | | 2 | |
| | 言語芸術フィールドワーク B | | 2 | |
| | 言語芸術フィールドワーク C | | 2 | |
| 自由科目 | 教師論 | | 2 | 共通開設 |
| | 特別支援教育 | | 2 | 共通開設 |
| | 教育課程論 | | 2 | 共通開設 |
| | 英語科教育法Ⅰ | | 2 | |
| | 英語科教育法Ⅱ | | 2 | |
| | 英語科教育法Ⅲ | | 2 | |
| | 英語科教育法Ⅳ | | 2 | |
| | 道徳教育の理論と指導法 | | 2 | 共通開設 |
| | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | | 2 | 共通開設 |
| | 教育方法論（ICTの活用含む） | | 2 | 共通開設 |
| | 生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む） | | 2 | 共通開設 |
| | 教育相談 | | 2 | 共通開設 |
| | 教育実習Ⅰ | | 1 | 共通開設 |
| | 教育実習ⅡＡ | | 4 | 共通開設 |
| | 教育実習ⅡＢ | | 2 | 共通開設 |
| | 教職実践演習（中・高） | | 2 | 共通開設 |
| | 学校インターンシップ | | 1 | 共通開設 |

（３）メディア・コミュニケーション学科
（必修42単位、選択必修４単位以上、選択78単位以上、計124単位以上修得のこと）

| | 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 必修科目 | 【基盤教育科目　キリスト教科目群】 | | | |
| | 福岡女学院学 | 2 | | |
| | キリスト教の歴史 | 2 | | |
| | キリスト教人間学 | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| | First-year English AⅠ | 2 | | |
| | First-year English AⅡ | 2 | | １８単位必修 |
| | First-year English BⅠ | 2 | | |
| | First-year English BⅡ | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | 情報リテラシー | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅰ | 2 | | |
| | 【総合演習】 | | | |
| | 入門ワークショップⅠ | 2 | | |
| | 入門ワークショップⅡ | 2 | | |
| | メディア研究入門 | 2 | | |
| | コミュニケーション研究入門 | 2 | | １８単位必修 |
| | デザイン研究入門 | 2 | | |
| | 専門演習Ⅰ | 2 | | |
| | 専門演習Ⅱ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 2 | | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | メディア概説 | 2 | | |
| | コミュニケーション概説 | 2 | | ６単位必修 |
| | デザイン概説 | 2 | | |
| 選択必修科目 | 【専門教育科目】 | | | |
| | 基礎演習Ａ | | 2 | |
| | 基礎演習Ｂ | | 2 | |
| | 基礎演習Ｃ | | 2 | |
| | 基礎演習Ｄ | | 2 | ４単位以上 |
| | 基礎演習Ｅ | | 2 | 選択必修 |
| | 基礎演習Ｆ | | 2 | |
| | 基礎演習Ｇ | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 選択科目 | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | 選択科目は計78単位以上の履修とし、専門教育科目から32単位以上（ただし、児童英語教員指導員、日本語教員科目を除く）、残りは基盤教育科目、専門教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目(12単位が上限)から修得すること。 |
| | Test Preparation | | 2 | |
| | Speaking Skills A | | 2 | |
| | Speaking Skills B | | 2 | |
| | Reading Skills A | | 2 | |
| | Reading Skills B | | 2 | |
| | Listening Skills | | 2 | |
| | Writing Skills | | 2 | |
| | Academic Reading A | | 2 | |
| | Academic Reading B | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | デジタルスキルズ A | | 2 | |
| | デジタルスキルズ B | | 2 | |
| | デジタルスキルズ C | | 2 | |
| | データサイエンス基礎 | | 2 | |
| | データサイエンス応用 | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅱ | | 2 | |
| | 女性のキャリア形成Ⅲ | | 2 | |
| | インターンシップ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　健康・スポーツ科学科目群】 | | | |
| | 健康・スポーツ科学理論 | | 2 | |
| | 健康・スポーツ科学実習A | | 1 | |
| | 健康・スポーツ科学実習B | | 1 | |
| | スポーツ実習 | | 1 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群】 | | | |
| | 中国語Ⅰ | | 2 | |
| | 中国語Ⅱ | | 2 | |
| | 中国語Ⅲ | | 2 | |
| | 中国語Ⅳ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅰ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅱ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅲ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅳ | | 2 | |
| | フランス語Ⅰ | | 2 | |
| | フランス語Ⅱ | | 2 | |
| | フランス語Ⅲ | | 2 | |
| | フランス語Ⅳ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群（留学生用）】 | | | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅰ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅱ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　一般教育科目群】 | | | |
| | 哲学・倫理学入門 | | 2 | |
| | 日本国憲法 | | 2 | |
| | 社会学入門 | | 2 | |
| | 経済学入門（国際経済を含む） | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディA | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディB | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディC | | 2 | |
| | 歴史学入門 | | 2 | |
| | 生命科学入門 | | 2 | |
| | 環境科学入門 | | 2 | |
| | 政治学入門（国際政治を含む） | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 法学入門（国際法含む） | | 2 | |
| | 文化人類学入門 | | 2 | |
| | 多文化共生論 | | 2 | |
| | 国際関係論 | | 2 | |
| | 教育原論 | | 2 | |
| | 教育経営論 | | 2 | |
| | 教育心理学 | | 2 | |
| | 人権教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 障害児教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 児童文学（英語） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチA（欧米） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチB（アジア） | | 2 | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | メディア技術史 | | 2 | |
| | 広告論 | | 2 | |
| | 映像論 | | 2 | |
| | メディアとコミュニケーション研究 | | 2 | |
| | 実践時事問題研究 | | 2 | |
| | メディア・リテラシー | | 2 | |
| | メディア文化史 | | 2 | |
| | メディアとことば | | 2 | |
| | メディア表現Ａ（放送） | | 2 | |
| | メディア表現Ｂ（新聞・出版） | | 2 | |
| | メディア表現Ｃ（広報） | | 2 | |
| | メディア制作ワークショップA | | 2 | |
| | 地域メディア研究 | | 2 | |
| | ことばとコミュニケーション | | 2 | |
| | メディア制作ワークショップB | | 2 | |
| | メディア研究方法論 | | 2 | |
| | デザインとコミュニケーション | | 2 | |
| | ポップ・カルチャー史 | | 2 | |
| | 文化とコミュニケーション | | 2 | |
| | 異文化コミュニケーション | | 2 | |
| | 社会言語学 | | 2 | |
| | 視覚デザイン論 | | 2 | |
| | メディアアート論 | | 2 | |
| | 比較美術表現論 | | 2 | |
| | 造形表現基礎 | | 4 | |
| | 色彩研究 | | 2 | |
| | 印刷表現演習 | | 4 | |
| | 映像表現演習 | | 4 | |
| | 写真表現演習 | | 2 | |
| | CG表現研究 | | 4 | |
| | マテリアル表現基礎 | | 4 | |
| | メディアアート演習 | | 4 | |
| | メディアとジェンダー | | 2 | |
| | サウンド・デザイン | | 2 | |
| | サウンド・コミュニケーション | | 2 | |
| | サウンド制作演習 | | 2 | |
| | コピーライティング研究 | | 2 | |
| | 情報処理Ａ | | 2 | |
| | 情報処理Ｂ | | 2 | |
| | 情報処理Ｃ | | 2 | |
| | グループ・プロジェクト | | 2 | |
| | アナウンス表現研究 | | 2 | |
| | サブカルチャー表現演習 | | 2 | |
| | フィールドワークＡ | | 2 | |
| | フィールドワークB | | 2 | |
| | フィールドワークC | | 2 | |
| | メディア・コミュニケーション特論A | | 2 | |
| | メディア・コミュニケーション特論B | | 2 | |
| | 児童英語教育指導員 | | | ※卒業要件の専門教育科目32単位には含まない |
| | キッズコミュニケーション | | 2 | |
| | 児童英語教育法 | | 2 | |
| | 児童英語指導法演習Ⅰ | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 児童英語指導法演習Ⅱ | | 2 | |
| | 児童英語フィールドワークⅠ | | 2 | |
| | 児童英語フィールドワークⅡ | | 2 | |
| | 日本語教員 | | | |
| | 児童日本語教育法 | | 2 | |
| | 日本語教育概論Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語教育概論Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語教材研究Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語教材研究Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語教授法演習Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語教授法演習Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語教育実習フィールドワーク | | 2 | |

２　人間関係学部

（１）心理学科

（必修40単位、選択必修10単位以上、選択74単位以上、計124単位以上修得のこと）

| | 授業科目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 必修科目 | 【基盤教育科目　キリスト教科目群】 | | | |
| | 福岡女学院学 | 2 | | |
| | キリスト教の歴史 | 2 | | |
| | キリスト教人間学 | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| | First-year English AⅠ | 2 | | |
| | First-year English AⅡ | 2 | | |
| | First-year English BⅠ | 2 | | |
| | First-year English BⅡ | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | 情報リテラシー | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅰ | 2 | | |
| | 【 心理学科専門科目 】 | | | ４０単位必修 |
| | 基礎演習Ａ | 1 | | |
| | 基礎演習Ｂ | 1 | | |
| | 心理学概論Ａ | 2 | | |
| | 心理学概論Ｂ | 2 | | |
| | 社会心理学(社会・集団・家族心理学Ａ) | 2 | | |
| | 心理学研究法 | 2 | | |
| | 臨床心理学概論 | 2 | | |
| | 応用演習Ａ | 1 | | |
| | 応用演習Ｂ | 1 | | |
| | 専門演習Ａ | 2 | | |
| | 専門演習Ｂ | 2 | | |
| | 卒業研究Ａ | 2 | | |
| | 卒業研究Ｂ | 2 | | |
| 選択必修科目 | 【 学科専門科目 】 | | | |
| | 発達心理学Ａ | | 2 | |
| | 知覚・認知心理学 | | 2 | |
| | 教育心理学(教育・学校心理学Ａ) | | 2 | |
| | 心理統計基礎(心理学統計法Ａ) | | 2 | |
| | 心理統計応用(心理学統計法Ｂ) | | 2 | １０単位以上選択必修 |
| | 心理学実験 Ⅰ | | 1 | |
| | 心理学実験 II | | 1 | |
| | 社会心理学実験実習(心理学実験Ⅲ) | | 2 | |
| | 学習・言語心理学 | | 2 | |
| | 感情・人格心理学 | | 2 | |
| 選択科目 | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| | Test Preparation | | 2 | |
| | Speaking Skills A | | 2 | |
| | Speaking Skills B | | 2 | |
| | Reading Skills A | | 2 | |
| | Reading Skills B | | 2 | |
| | Listening Skills | | 2 | |
| | Writing Skills | | 2 | |
| | Academic Reading A | | 2 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | Academic Reading B | | 2 |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | |
| | デジタルスキルズ A | | 2 |
| | デジタルスキルズ B | | 2 |
| | デジタルスキルズ C | | 2 |
| | データサイエンス基礎 | | 2 |
| | データサイエンス応用 | | 2 |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅱ | | 2 |
| | 女性のキャリア形成Ⅲ | | 2 |
| | インターンシップ | | 2 |
| | 【基盤教育科目　健康・スポーツ科学科目群】 | | |
| | 健康・スポーツ科学理論 | | 2 |
| | 健康・スポーツ科学実習A | | 1 |
| | 健康・スポーツ科学実習B | | 1 |
| | スポーツ実習 | | 1 |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群】 | | |
| | 中国語Ⅰ | | 2 |
| | 中国語Ⅱ | | 2 |
| | 中国語Ⅲ | | 2 |
| | 中国語Ⅳ | | 2 |
| | 韓国語Ⅰ | | 2 |
| | 韓国語Ⅱ | | 2 |
| | 韓国語Ⅲ | | 2 |
| | 韓国語Ⅳ | | 2 |
| | フランス語Ⅰ | | 2 |
| | フランス語Ⅱ | | 2 |
| | フランス語Ⅲ | | 2 |
| | フランス語Ⅳ | | 2 |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群（留学生用）】 | | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅰ | | 2 |
| | 日本語の作文（上級）Ⅱ | | 2 |
| | 日本語の読解（上級）Ⅰ | | 2 |
| | 日本語の読解（上級）Ⅱ | | 2 |
| | 日本語の会話（上級）Ⅰ | | 2 |
| | 日本語の会話（上級）Ⅱ | | 2 |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅰ | | 2 |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅱ | | 2 |
| | 専門日本語Ⅰ | | 2 |
| | 専門日本語Ⅱ | | 2 |
| | 日本語の表現技術Ⅰ | | 2 |
| | 日本語の表現技術Ⅱ | | 2 |
| | 【基盤教育科目　一般教育科目群】 | | |
| | 哲学・倫理学入門 | | 2 |
| | 日本国憲法 | | 2 |
| | 社会学入門 | | 2 |
| | 経済学入門（国際経済を含む） | | 2 |
| | ジェンダー・スタディA | | 2 |
| | ジェンダー・スタディB | | 2 |
| | ジェンダー・スタディC | | 2 |
| | 歴史学入門 | | 2 |
| | 生命科学入門 | | 2 |
| | 環境科学入門 | | 2 |
| | 政治学入門（国際政治を含む） | | 2 |
| | 法学入門（国際法含む） | | 2 |
| | 文化人類学入門 | | 2 |
| | 多文化共生論 | | 2 |
| | 国際関係論 | | 2 |
| | 教育原論 | | 2 |
| | 教育経営論 | | 2 |
| | 教育心理学 | | 2 |
| | 人権教育の理論と指導法 | | 2 |
| | 障害児教育の理論と指導法 | | 2 |
| | 児童文学（英語） | | 2 |
| | 異文化へのアプローチA（欧米） | | 2 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 異文化へのアプローチB（アジア） | | 2 | |
| | 【心理学科専門科目】 | | | |
| | 心理的アセスメント | | 2 | |
| | 心理学的支援法 | | 2 | |
| | 公認心理師の職責 | | 2 | |
| | 司法・犯罪心理学 | | 2 | |
| | 精神疾患とその治療 | | 2 | |
| | 神経・生理心理学 | | 2 | |
| | 障害者・障害児心理学 | | 2 | |
| | 関係行政論(公認心理師関係) | | 2 | |
| | 心理演習Ⅰ | | 1 | |
| | 心理演習Ⅱ | | 1 | |
| | 心理実習Ⅰ | | 1 | |
| | 心理実習Ⅱ | | 1 | |
| | 心理実習Ⅲ | | 1 | |
| | 心理療法基礎実習Ⅰ | | 1 | |
| | 心理療法基礎実習Ⅱ | | 1 | |
| | 人体の構造と機能及び疾病 | | 2 | |
| | 人間関係心理学 | | 2 | |
| | 集団心理学 | | 2 | |
| | 発達心理学Ｂ | | 2 | |
| | ピアサポート | | 2 | |
| | 人間関係実践演習 | | 4 | |
| | ジェンダー心理学 | | 2 | |
| | 家族心理学(社会・集団・家族心理学Ｂ) | | 2 | |
| | 健康・医療心理学 | | 2 | |
| | 学校心理学(教育・学校心理学Ｂ) | | 2 | |
| | 福祉心理学 | | 2 | |
| | 心理学フィールドワーク(人間関係)Ａ | | 2 | |
| | 心理学フィールドワーク(人間関係)Ｂ | | 2 | |
| | 哲学概論 | | 2 | |
| | 宗教学概論 | | 2 | |
| | 倫理学概論 | | 2 | |
| | キャリア心理学 | | 2 | |
| | 産業・組織心理学 | | 2 | |
| | マーケティング | | 2 | |
| | 経営心理学 | | 2 | |
| | 心理統計実践 | | 2 | |
| | 心理学フィールドワーク（キャリア）Ａ | | 2 | |
| | 心理学フィールドワーク（キャリア）Ｂ | | 2 | |
| | 社会学概論 | | 2 | |
| | 経済学概論 | | 2 | |
| | 経営学概論 | | 2 | |
| | 行動経済学 | | 2 | |
| | 国際経済論 | | 2 | |
| | 起業戦略論 | | 2 | |
| | 公民科教育法Ⅰ | | 2 | |
| | 公民科教育法Ⅱ | | 2 | |
| 自 | 道徳教育の理論と指導法 | | 2 | 共通開設 |
| | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | | 2 | 共通開設 |
| 由 | 教師論 | | 2 | 共通開設 |
| | 特別支援教育 | | 2 | 共通開設 |
| 科 | 教育課程論 | | 2 | 共通開設 |
| | 教育方法論（ICTの活用含む） | | 2 | 共通開設 |
| 目 | 生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む） | | 2 | 共通開設 |
| | 教育相談 | | 2 | 共通開設 |
| | 教育実習Ⅰ | | 1 | 共通開設 |
| | 教育実習ⅡＢ | | 2 | 共通開設 |
| | 教職実践演習（中・高） | | 2 | 共通開設 |
| | 学校インターンシップ | | 1 | 共通開設 |

（２）子ども発達学科
（必修49単位、選択75単位以上、計124単位以上修得のこと）

| | 授　業　科　目 | 単　位　数 | | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|

| | 授　業　科　目 | 必修 | 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 必修科目 | 【基盤教育科目　キリスト教科目群】 | | | |
| | 福岡女学院学 | 2 | | |
| | キリスト教の歴史 | 2 | | |
| | キリスト教人間学 | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| | First-year English AⅠ | 2 | | |
| | First-year English AⅡ | 2 | | |
| | First-year English BⅠ | 2 | | |
| | First-year English BⅡ | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | 情報リテラシー | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅰ | 2 | | |
| | 【 子ども発達学科専門科目 】 | | | |
| | 子ども学概論 | 2 | | |
| | 子ども学フィールドワーク | 1 | | |
| | 子ども学フィールド演習 | 1 | | |
| | 子ども学観察演習 | 1 | | ４９単位必修 |
| | 子ども学総合演習Ⅰ | 2 | | |
| | 子ども学総合演習Ⅱ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅰ | 2 | | |
| | 卒業研究Ⅱ | 2 | | |
| | 心理学概論 | 2 | | |
| | 発達心理学Ⅰ（総論） | 2 | | |
| | 子どもの発達と学習の心理学 | 2 | | |
| | 社会福祉概論 | 2 | | |
| | 保育原理 | 2 | | |
| | 教育原理 | 2 | | |
| | 特別支援教育論 | 2 | | |
| | 子育て支援論 | 2 | | |
| | 初年次教育Ⅰ | 1 | | |
| | 初年次教育Ⅱ | 1 | | |
| 選択科目 | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| | Test Preparation | | 2 | 基盤教育科目、子ども発達学科専門科目から75単位以上を選択履修する。 |
| | Speaking Skills A | | 2 | |
| | Speaking Skills B | | 2 | |
| | Reading Skills A | | 2 | |
| | Reading Skills B | | 2 | |
| | Listening Skills | | 2 | |
| | Writing Skills | | 2 | |
| | Academic Reading A | | 2 | |
| | Academic Reading B | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | デジタルスキルズ A | | 2 | |
| | デジタルスキルズ B | | 2 | |
| | デジタルスキルズ C | | 2 | |
| | データサイエンス基礎 | | 2 | |
| | データサイエンス応用 | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅱ | | 2 | |
| | 女性のキャリア形成Ⅲ | | 2 | |
| | インターンシップ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　健康・スポーツ科学科目群】 | | | |
| | 健康・スポーツ科学理論 | | 2 | |
| | 健康・スポーツ科学実習A | | 1 | |
| | 健康・スポーツ科学実習B | | 1 | |
| | スポーツ実習 | | 1 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群】 | | | |
| | 中国語Ⅰ | | 2 | |
| | 中国語Ⅱ | | 2 | |
| | 中国語Ⅲ | | 2 | |
| | 中国語Ⅳ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅰ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅱ | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 韓国語Ⅲ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅳ | | 2 | |
| | フランス語Ⅰ | | 2 | |
| | フランス語Ⅱ | | 2 | |
| | フランス語Ⅲ | | 2 | |
| | フランス語Ⅳ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群（留学生用）】 | | | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅰ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅱ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　一般教育科目群】 | | | |
| | 哲学・倫理学入門 | | 2 | |
| | 日本国憲法 | | 2 | |
| | 社会学入門 | | 2 | |
| | 経済学入門（国際経済を含む） | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディA | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディB | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディC | | 2 | |
| | 歴史学入門 | | 2 | |
| | 生命科学入門 | | 2 | |
| | 環境科学入門 | | 2 | |
| | 政治学入門（国際政治を含む） | | 2 | |
| | 法学入門（国際法含む） | | 2 | |
| | 文化人類学入門 | | 2 | |
| | 多文化共生論 | | 2 | |
| | 国際関係論 | | 2 | |
| | 教育原論 | | 2 | |
| | 教育経営論 | | 2 | |
| | 教育心理学 | | 2 | |
| | 人権教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 障害児教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 児童文学（英語） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチA（欧米） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチB（アジア） | | 2 | |
| | 【子ども発達学科専門科目】 | | | |
| | 発達心理学Ⅱ（乳幼児と親の発達心理） | | 2 | |
| | 子ども理解の心理統計法 | | 2 | |
| | 発達・教育相談の基礎 | | 2 | |
| | 発達・教育相談の方法と実践 | | 1 | |
| | 保育者論 | | 2 | |
| | 教職概論 | | 2 | |
| | 子ども家庭福祉論 | | 2 | |
| | 社会的養護Ⅰ | | 2 | |
| | 保育者実務論 | | 2 | |
| | キリスト教と子ども学 | | 2 | |
| | 子どもの理解と援助 | | 1 | |
| | 子どもの保健 | | 2 | |
| | 子どもの食と栄養 | | 2 | |
| | 保育の計画と評価 | | 2 | |
| | 保育内容総論 | | 1 | |
| | 保育内容（健康） | | 1 | |
| | 保育内容（人間関係） | | 1 | |
| | 保育内容（環境） | | 1 | |
| | 保育内容（言葉） | | 1 | |
| | 保育内容（表現） | | 1 | |
| | 保育内容（音楽表現） | | 1 | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 保育内容（造形表現） | | 1 | | |
| | 保育内容（身体表現） | | 1 | | |
| | 教育技術論（児童文化財研究Ⅰ） | | 1 | | |
| | 教育技術論（児童文化財研究Ⅱ） | | 1 | | |
| | 乳児保育Ⅰ | | 2 | | |
| | 乳児保育Ⅱ | | 1 | | |
| | 子どもの健康と安全 | | 1 | | |
| | 障害児保育Ⅰ | | 1 | | |
| | 障害児保育Ⅱ | | 1 | | |
| | 社会的養護Ⅱ | | 1 | | |
| | 教育課程論 | | 2 | | |
| | 教育の方法と技術（ICTの活用含む） | | 2 | | |
| | 教育制度論 | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（国語） | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（社会） | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（算数） | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（理科） | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（生活） | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（音楽） | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（図画工作） | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（家庭） | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（体育） | | 2 | | |
| | 初等教科教育法（英語） | | 2 | | |
| | 道徳教育の理論と実践 | | 2 | | |
| | 総合的な学習の時間の指導法 | | 2 | | |
| | 特別活動論 | | 2 | | |
| | 生徒・進路指導の理論と方法 | | 2 | | |
| | 表現概論 | | 2 | | |
| | 子どもと人間関係 | | 2 | | |
| | 子どもと健康 | | 2 | | |
| | 子どもと環境 | | 2 | | |
| | 子どもと言葉 | | 2 | | |
| | 子どもと音楽遊び | | 1 | | |
| | 子どもと造形遊び | | 1 | | |
| | 子どもと運動遊び | | 1 | | |
| | 子どもと遊び | | 2 | | |
| | 国語表現 | | 2 | | |
| | 小学校社会科 | | 2 | | |
| | 数の理解 | | 2 | | |
| | 小学校理科 | | 2 | | |
| | 小学校生活科 | | 2 | | |
| | 小学校音楽 | | 1 | | |
| | 音楽 Ⅰ | | 1 | | |
| | 音楽 Ⅱ | | 1 | | |
| | 音楽 Ⅲ | | 1 | | |
| | 図画工作 | | 1 | | |
| | 小学校家庭科 | | 2 | | |
| | 体育 | | 1 | | |
| | 子どもの英語 | | 2 | | |
| | 障害児教育論 | | 2 | | |
| | 知的障害児の心理・生理・病理 | | 2 | | |
| | 肢体不自由児の心理・生理・病理 | | 2 | | |
| | 病弱児の心理・生理・病理 | | 2 | | |
| | 知的障害児教育論 | | 2 | | |
| | 肢体不自由児教育論 | | 2 | | |
| | 病弱児教育論 | | 2 | | |
| | 知的障害児教育総論 | | 2 | | |
| | 特別支援教育の教育課程 | | 2 | | |
| | 重複障害児教育論 | | 2 | | |
| | 発達障害児教育論 | | 2 | | |
| | 感覚障害児教育論 | | 2 | | |
| | 保育フィールドワーク | | 1 | | |
| | 学校フィールドワーク | | 1 | | |
| | 施設実践演習 | | 1 | | |
| | 運動遊び実践 | | 1 | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 授業研究Ⅰ | | 2 | |
| | 授業研究Ⅱ | | 2 | |
| | 授業研究Ⅲ | | 2 | |
| | 保育実習指導Ⅰ（保育所） | | 1 | |
| | 保育実習Ⅰ（保育所） | | 2 | |
| | 保育実習指導Ⅰ(施設) | | 1 | |
| | 保育実習Ⅰ(施設) | | 2 | |
| | 保育実習指導Ⅱ | | 1 | |
| | 保育実習Ⅱ | | 2 | |
| | 保育実習指導Ⅲ | | 1 | |
| | 保育実習Ⅲ | | 2 | |
| | 幼稚園教育実習指導Ⅰ | | 1 | |
| | 幼稚園教育実習Ⅰ | | 2 | |
| | 幼稚園教育実習指導Ⅱ | | 1 | |
| | 幼稚園教育実習Ⅱ | | 2 | |
| | 小学校教育実習指導 | | 1 | |
| | 小学校教育実習 | | 4 | |
| | 特別支援教育実習指導 | | 1 | |
| | 特別支援教育実習 | | 2 | |
| | 総合実践演習（保・幼・小） | | 2 | |

３　国際キャリア学部

（１）国際英語学科

（必修58単位、選択66単位以上、計124単位以上修得のこと）

| | 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 必修科目 | 【基盤教育科目　キリスト教科目群】 | | | |
| | 福岡女学院学 | 2 | | |
| | キリスト教の歴史 | 2 | | |
| | キリスト教人間学 | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| | First-year English AⅠ | 2 | | |
| | First-year English AⅡ | 2 | | １８単位必修 |
| | First-year English BⅠ | 2 | | |
| | First-year English BⅡ | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | 情報リテラシー | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅰ | 2 | | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | Reading Skills Ⅰ | 2 | | |
| | Reading Skills Ⅱ | 2 | | |
| | Writing Skills Ⅰ | 2 | | |
| | Writing Skills Ⅱ | 2 | | |
| | Test Taking Skills Ⅰ | 2 | | |
| | Communicative Grammar | 2 | | ２８単位必修 |
| | English as a Global Language | 2 | | |
| | Leadership and Global Careers | 2 | | |
| | Academic Reading Skills Ⅰ | 2 | | |
| | Academic Reading Skills Ⅱ | 2 | | |
| | Academic Writing Skills Ⅰ | 2 | | |
| | Academic Writing Skills Ⅱ | 2 | | |
| | Discussion Skills Ⅰ | 2 | | |
| | Discussion Skills Ⅱ | 2 | | |
| | 【総合演習科目】 | | | |
| | Freshers Seminar Ⅰ | 2 | | |
| | Freshers Seminar Ⅱ | 2 | | |
| | Junior Seminar Ⅰ | 2 | | １２単位必修 |
| | Junior Seminar Ⅱ | 2 | | |
| | Senior Seminar Ⅰ | 2 | | |
| | Senior Seminar Ⅱ | 2 | | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 選択科目 | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | 選択科目は計66単位以上の履修とし、専門教育科目から34単位以上、残りは基盤教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から修得すること。 |
| | Test Preparation | | 2 | |
| | Speaking Skills A | | 2 | |
| | Speaking Skills B | | 2 | |
| | Reading Skills A | | 2 | |
| | Reading Skills B | | 2 | |
| | Listening Skills | | 2 | |
| | Writing Skills | | 2 | |
| | Academic Reading A | | 2 | |
| | Academic Reading B | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | デジタルスキルズ A | | 2 | |
| | デジタルスキルズ B | | 2 | |
| | デジタルスキルズ C | | 2 | |
| | データサイエンス基礎 | | 2 | |
| | データサイエンス応用 | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅱ | | 2 | |
| | 女性のキャリア形成Ⅲ | | 2 | |
| | インターンシップ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　健康・スポーツ科学科目群】 | | | |
| | 健康・スポーツ科学理論 | | 2 | |
| | 健康・スポーツ科学実習A | | 1 | |
| | 健康・スポーツ科学実習B | | 1 | |
| | スポーツ実習 | | 1 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群】 | | | |
| | 中国語Ⅰ | | 2 | |
| | 中国語Ⅱ | | 2 | |
| | 中国語Ⅲ | | 2 | |
| | 中国語Ⅳ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅰ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅱ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅲ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅳ | | 2 | |
| | フランス語Ⅰ | | 2 | |
| | フランス語Ⅱ | | 2 | |
| | フランス語Ⅲ | | 2 | |
| | フランス語Ⅳ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群（留学生用）】 | | | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅰ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅱ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　一般教育科目群】 | | | |
| | 哲学・倫理学入門 | | 2 | |
| | 日本国憲法 | | 2 | |
| | 社会学入門 | | 2 | |
| | 経済学入門（国際経済を含む） | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディA | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディB | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディC | | 2 | |
| | 歴史学入門 | | 2 | |
| | 生命科学入門 | | 2 | |
| | 環境科学入門 | | 2 | |
| | 政治学入門（国際政治を含む） | | 2 | |
| | 法学入門（国際法含む） | | 2 | |
| | 文化人類学入門 | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 多文化共生論 | | 2 | |
| | 国際関係論 | | 2 | |
| | 教育原論 | | 2 | |
| | 教育経営論 | | 2 | |
| | 教育心理学 | | 2 | |
| | 人権教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 障害児教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 児童文学（英語） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチA（欧米） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチB（アジア） | | 2 | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | Intercultural Communication | | 2 | |
| | Global Affairs I | | 2 | |
| | Global Affairs II | | 2 | |
| | English and British Culture | | 2 | |
| | English and American Culture | | 2 | |
| | Regional Development and Economics I | | 2 | |
| | Regional Development and Economics Ⅱ | | 2 | |
| | Global and Local Fieldwork | | 2 | |
| | Introduction to English Education | | 2 | |
| | Theories and Methods | | 2 | |
| | Testing and Language Assessment | | 2 | |
| | L2 Acquisition | | 2 | |
| | Materials Development | | 2 | |
| | Bilingualism | | 2 | |
| | English for Young Learners Methodology | | 2 | |
| | English for Young Learners Seminar Ⅰ | | 2 | |
| | English for Young Learners Seminar Ⅱ | | 2 | |
| | English for Young Learners Fieldwork Ⅰ | | 2 | |
| | English for Young Learners Fieldwork Ⅱ | | 2 | |
| | Kids Communication | | 2 | |
| | Advanced Practicum | | 2 | |
| | Research Methods | | 2 | |
| | Test Taking Skills Ⅱ | | 2 | |
| | Advanced Discussion | | 2 | |
| | English Linguistics | | 2 | |
| | English Phonetics | | 2 | |
| | English Grammar | | 2 | |
| | Semantics and Pragmatics | | 2 | |
| | Language and Society | | 2 | |
| | History of English Literature | | 2 | |
| | History of American Literature | | 2 | |
| | English Literature Ⅰ | | 2 | |
| | English Literature Ⅱ | | 2 | |
| | American Literature Ⅰ | | 2 | |
| | American Literature Ⅱ | | 2 | |
| | Internship | | 2 | |
| | Short Overseas | | 6 | |
| | Study Abroad I | | 16 | |
| | Study Abroad II | | 16 | |
| | 教師論 | | 2 | 共通開設 |
| | 特別支援教育 | | 2 | 共通開設 |
| 自 | 教育課程論 | | 2 | 共通開設 |
| | 英語科教育法Ⅰ | | 2 | |
| 由 | 英語科教育法Ⅱ | | 2 | |
| | 英語科教育法Ⅲ | | 2 | |
| 科 | 英語科教育法Ⅳ | | 2 | |
| | 教育方法論（ICTの活用含む） | | 2 | 共通開設 |
| 目 | 道徳教育の理論と指導法 | | 2 | 共通開設 |
| | 特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | | 2 | 共通開設 |
| | 生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む） | | 2 | 共通開設 |
| | 教育相談 | | 2 | 共通開設 |
| | 教育実習Ⅰ | | 1 | 共通開設 |
| | 教育実習ⅡＡ | | 4 | 共通開設 |
| | 教育実習ⅡＢ | | 2 | 共通開設 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 教職実践演習（中・高） | | 2 | 共通開設 |
| | 学校インターンシップ | | 1 | 共通開設 |

（２）国際キャリア学科
（必修58単位、選択66単位以上、計124単位以上修得のこと）

| | 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| 必修科目 | 【基盤教育科目　キリスト教科目群】 | | | |
| | 福岡女学院学 | 2 | | |
| | キリスト教の歴史 | 2 | | |
| | キリスト教人間学 | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | |
| | First-year English AⅠ | 2 | | |
| | First-year English AⅡ | 2 | | １８単位必修 |
| | First-year English BⅠ | 2 | | |
| | First-year English BⅡ | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | 情報リテラシー | 2 | | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅰ | 2 | | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | Reading and Writing Skills Ⅰ | 2 | | |
| | Reading and Writing Skills Ⅱ | 2 | | |
| | Critical Thinking | 2 | | |
| | Presentation Skills | 2 | | |
| | Communication Skills Ⅰ | 2 | | |
| | Communication Skills Ⅱ | 2 | | ２８単位必修 |
| | Introduction to Communication | 2 | | |
| | Introduction to Global Career | 2 | | |
| | Reading and Writing Skills Ⅲ | 2 | | |
| | Reading and Writing Skills Ⅳ | 2 | | |
| | Business Communication Ⅰ | 2 | | |
| | Business Communication Ⅱ | 2 | | |
| | Business Reading Ⅰ | 2 | | |
| | Business Reading Ⅱ | 2 | | |
| | 【総合演習科目】 | | | |
| | Freshers Seminar Ⅰ | 2 | | |
| | Freshers Seminar Ⅱ | 2 | | |
| | Junior Seminar Ⅰ | 2 | | １２単位必修 |
| | Junior Seminar Ⅱ | 2 | | |
| | Senior Seminar Ⅰ | 2 | | |
| | Senior Seminar Ⅱ | 2 | | |
| 選択科目 | 【基盤教育科目　大学共通英語科目群】 | | | 選択科目は計66単位以上の履修とし、専門教育科目から34単位以上、残りは基盤教育科目、他学科専門教育科目及び他学部受講科目（12単位が上限）から修得すること。 |
| | Test Preparation | | 2 | |
| | Speaking Skills A | | 2 | |
| | Speaking Skills B | | 2 | |
| | Reading Skills A | | 2 | |
| | Reading Skills B | | 2 | |
| | Listening Skills | | 2 | |
| | Writing Skills | | 2 | |
| | Academic Reading A | | 2 | |
| | Academic Reading B | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　情報科学科目群】 | | | |
| | デジタルスキルズ A | | 2 | |
| | デジタルスキルズ B | | 2 | |
| | デジタルスキルズ C | | 2 | |
| | データサイエンス基礎 | | 2 | |
| | データサイエンス応用 | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　キャリア科目群】 | | | |
| | 女性のキャリア形成Ⅱ | | 2 | |
| | 女性のキャリア形成Ⅲ | | 2 | |
| | インターンシップ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　健康・スポーツ科学科目群】 | | | |
| | 健康・スポーツ科学理論 | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 健康・スポーツ科学実習A | | 1 | |
| | 健康・スポーツ科学実習B | | 1 | |
| | スポーツ実習 | | 1 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群】 | | | |
| | 中国語Ⅰ | | 2 | |
| | 中国語Ⅱ | | 2 | |
| | 中国語Ⅲ | | 2 | |
| | 中国語Ⅳ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅰ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅱ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅲ | | 2 | |
| | 韓国語Ⅳ | | 2 | |
| | フランス語Ⅰ | | 2 | |
| | フランス語Ⅱ | | 2 | |
| | フランス語Ⅲ | | 2 | |
| | フランス語Ⅳ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　第2外国語科目群（留学生用）】 | | | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の作文（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の読解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の会話（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の聴解（上級）Ⅱ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅰ | | 2 | |
| | 専門日本語Ⅱ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅰ | | 2 | |
| | 日本語の表現技術Ⅱ | | 2 | |
| | 【基盤教育科目　一般教育科目群】 | | | |
| | 哲学・倫理学入門 | | 2 | |
| | 日本国憲法 | | 2 | |
| | 社会学入門 | | 2 | |
| | 経済学入門（国際経済を含む） | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディA | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディB | | 2 | |
| | ジェンダー・スタディC | | 2 | |
| | 歴史学入門 | | 2 | |
| | 生命科学入門 | | 2 | |
| | 環境科学入門 | | 2 | |
| | 政治学入門（国際政治を含む） | | 2 | |
| | 法学入門（国際法含む） | | 2 | |
| | 文化人類学入門 | | 2 | |
| | 多文化共生論 | | 2 | |
| | 国際関係論 | | 2 | |
| | 教育原論 | | 2 | |
| | 教育経営論 | | 2 | |
| | 教育心理学 | | 2 | |
| | 人権教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 障害児教育の理論と指導法 | | 2 | |
| | 児童文学（英語） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチA（欧米） | | 2 | |
| | 異文化へのアプローチB（アジア） | | 2 | |
| | 【専門教育科目】 | | | |
| | Test Taking Skills | | 2 | |
| | Introduction to World Business（国際キャリア入門） | | 2 | |
| | Intercultural Communication | | 2 | |
| | Communication Strategy | | 2 | |
| | Analysis and Discussion Ⅰ | | 2 | |
| | Analysis and Discussion Ⅱ | | 2 | |
| | American Literature Ⅰ | | 2 | |
| | American Literature Ⅱ | | 2 | |
| | English Literature Ⅰ | | 2 | |
| | English Literature Ⅱ | | 2 | |
| | English and Media Ⅰ | | 2 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | English and Media II | | 2 | |
| | Introduction to Economics | | 2 | |
| | International Career Ⅰ | | 2 | |
| | International Career Ⅱ | | 2 | |
| | International Marketing | | 2 | |
| | International Finance | | 2 | |
| | International Relations Ⅰ | | 2 | |
| | International Relations Ⅱ | | 2 | |
| | Human Resource Management | | 2 | |
| | Japanese Industry | | 2 | |
| | Company Law | | 2 | |
| | Current Business (Lecture series) | | 2 | |
| | Regional Promotion Fieldwork（地域振興フィールドワーク） | | 2 | |
| | International Business Workshop(国際ビジネス・ワークショップ) | | 2 | |
| | International Business Fieldwork（国際ビジネス・ フィールドワーク） | | 2 | |
| | International Cooperation（国際協力A) | | 2 | |
| | International Cooperation（国際協力B) | | 2 | |
| | American Studies Ａ (Culture) | | 2 | |
| | American Studies Ｂ (Politics) | | 2 | |
| | Asian Studies Ａ (Culture) | | 2 | |
| | Asian Studies Ｂ (History) | | 2 | |
| | Japanese Studies Ａ (Culture) | | 2 | |
| | Japanese Studies Ｂ (Politics) | | 2 | |
| | Japanese Studies Ｃ (Literature) | | 2 | |
| | Japanese Studies Ｄ (History) | | 2 | |
| | 中国語会話I | | 2 | |
| | 中国語会話II | | 2 | |
| | 中国語ビジネス会話I | | 2 | |
| | 中国語ビジネス会話II | | 2 | |
| | 日本語ビジネス会話I | | 2 | |
| | 日本語ビジネス会話II | | 2 | |
| | インテンシブ日本語 | | 2 | |
| | Japanese Culture Fieldwork | | 2 | |
| | Short Overseas | | 6 | |
| | Study Abroad Ⅰ | | 16 | |
| | Study Abroad Ⅱ | | 16 | |
| | Business Internship Ⅰ | | 2 | |
| | Business Internship Ⅱ | | 2 | |

別表２（第９条の２第２項関係　中一種・高一種）

（１）教科及び教科の指導法に関する科目

①　現代文化学科（国語）　　○印は教職課程必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ○日本語学概論Ⅰ | | 2 | |
| ○日本語学概論Ⅱ | | 2 | |
| ○日本語表現技法Ａ（文章） | | 2 | |
| ○日本語表現技法Ｂ（音声） | | 2 | |
| 日本語史 | | 2 | |
| 日本語の構造 | | 2 | |
| 日本語の語彙・意味 | | 2 | |
| ○日本文学の発生 | | 2 | |
| ○日本文学の変遷 | | 2 | |
| 日本の文学（古典ＡⅠ） | | 2 | １０単位必修 |
| 日本の文学（古典ＡⅡ） | | 2 | １０単位必修 |
| 日本の文学（古典ＢⅠ） | | 2 | １０単位必修 |
| 日本の文学（古典ＢⅡ） | | 2 | １０単位必修 |
| 日本の文学（近現代Ⅰ） | | 2 | １０単位必修 |
| 日本の文学（近現代Ⅱ） | | 2 | １０単位必修 |
| 日本の文学（特講Ａ） | | 2 | |
| 日本の文学（特講Ｂ） | | 2 | |
| 漢文学Ⅰ | | 2 | 中一種免は４単位必修<br>高一種免は８単位必修 |
| 漢文学Ⅱ | | 2 | |
| 漢文学Ⅲ | | 2 | |
| 中国文学 | | 2 | |
| ○書道文化（技法） | | 2 | 中一種免のみ開設 |
| ○書道文化史 | | 4 | 中一種免のみ開設 |
| ○国語科教育法Ⅰ | | 2 | |
| ○国語科教育法Ⅱ | | 2 | |
| ○国語科教育法Ⅲ | | 2 | |
| ○国語科教育法Ⅳ | | 2 | |

②　言語芸術学科英語教職コース（英語）　　○印は教職課程必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ○初級英語音声学 | 2 | | |
| ○英文法Ⅰ | 2 | | |
| ○英文法Ⅱ | 2 | | |
| ○英語学概論 | 2 | | |
| ○英語表現Ａ（小説） | 2 | | いずれか1科目選択必修 |
| ○英語表現B（演劇） | 2 | | いずれか1科目選択必修 |
| ○英語表現Ｃ（詩歌） | 2 | | いずれか1科目選択必修 |
| ○英語文学・文化 | 2 | | |
| ○イギリス文学の変遷Ⅰ | 2 | | いずれか1科目選択必修 |
| ○イギリス文学の変遷Ⅱ | 2 | | いずれか1科目選択必修 |
| ○アメリカ文学の変遷 | 2 | | いずれか1科目選択必修 |
| イギリス文学Ⅰ | 2 | | |
| アメリカ文学 | 2 | | |
| ○First-year English ＡⅠ | 2 | | |
| ○First-year English ＡⅡ | 2 | | |
| First-year English ＢⅠ | 2 | | |
| First-year English ＢⅡ | 2 | | |
| ○異文化コミュニケーション | | 2 | |
| 海外フィールドワーク（実践） | | 4 | |
| ○海外フィールドワーク（理論） | | 2 | |
| ○英語科教育法Ⅰ | | 2 | |
| ○英語科教育法Ⅱ | | 2 | |
| ○英語科教育法Ⅲ | | 2 | |
| ○英語科教育法Ⅳ | | 2 | |

③　心理学科（公民）　　〇印は教職課程必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 〇法学入門（国際法を含む） | | 2 | |
| 〇政治学入門（国際政治を含む） | | 2 | |
| 国際関係論 | | 2 | |
| 行動経済学 | | 2 | |
| 経済学概論 | | 2 | |
| 〇国際経済論 | | 2 | |
| 〇社会学概論 | | 2 | |
| 経営学概論 | | 2 | |
| マーケティング | | 2 | |
| 〇哲学概論 | | 2 | |
| 〇倫理学概論 | | 2 | |
| 〇宗教学概論 | | 2 | |
| 〇心理学概論Ａ | 2 | | |
| 心理学概論Ｂ | 2 | | |
| 社会心理学(社会・集団・家族心理学Ａ) | 2 | | |
| 人間関係心理学 | | 2 | |
| ジェンダー心理学 | | 2 | |
| 福祉心理学 | | 2 | |
| 〇公民科教育法Ⅰ | | 2 | |
| 〇公民科教育法Ⅱ | | 2 | |

④　国際英語学科（英語）　　〇印は教職課程必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 〇English Linguistics | | 2 | |
| 〇English Phonetics | | 2 | |
| 〇English Grammar | | 2 | |
| L2 Acquisition | | 2 | |
| 〇History of English Literature | | 2 | |
| 〇History of American Literature | | 2 | |
| 〇English and British Culture | | 2 | |
| 〇English and American Culture | | 2 | |
| English Literature Ⅰ | | 2 | |
| English Literature Ⅱ | | 2 | |
| American Literature Ⅰ | | 2 | |
| American Literature Ⅱ | | 2 | |
| 〇First-year English ＡⅠ | 2 | | |
| 〇First-year English ＡⅡ | 2 | | |
| First-year English ＢⅠ | 2 | | |
| First-year English ＢⅡ | 2 | | |
| 〇Intercultural Communication | | 2 | |
| Short Overseas | | 6 | |
| 〇英語科教育法Ⅰ | | 2 | |
| 〇英語科教育法Ⅱ | | 2 | |
| 〇英語科教育法Ⅲ | | 2 | |
| 〇英語科教育法Ⅳ | | 2 | |

（２）教育の基礎的理解に関する科目等（国語・英語・公民）　　〇印は教職課程必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 〇教育原論 | | 2 | |
| 〇教師論 | | 2 | |
| 〇教育経営論 | | 2 | |
| 〇教育心理学 | | 2 | |
| 〇特別支援教育 | | 2 | |
| 〇教育課程論 | | 2 | |
| 〇道徳教育の理論と指導法 | | 2 | 中一種免のみ |
| 〇特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 | | 2 | |
| 〇教育方法論（ICTの活用含む） | | 2 | |
| 〇生徒・進路指導論（キャリア教育の理論及び方法を含む） | | 2 | |
| 〇教育相談 | | 2 | |
| 〇教育実習Ⅰ | | 1 | 事前・事後指導 |
| 教育実習ⅡＡ | | 4 | 中一種免必修 |
| 教育実習ⅡＢ | | 2 | 高一種免必修 |
| 〇教職実践演習（中・高） | | 2 | |

（３）大学が独自に設定する科目（国語・英語・公民）　　〇印は教職課程必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 〇人権教育の理論と指導法 | | 2 | 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて中４、高１２単位以上を修得 |
| 〇障害児教育の理論と指導法 | | 2 | |
| *道徳教育の理論と指導法 | | 2 | *高一種免のみ |
| 〇学校インターンシップ | | 1 | |

（４）教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目　　〇印は教職課程必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 〇日本国憲法 | | 2 | |
| 〇健康・スポーツ科学実習理論 | | 2 | |
| 〇健康・スポーツ科学実習Ａ | | 1 | |
| First-year English ＡⅠ | 2 | | |
| 情報リテラシー | 2 | | |

別表２（第９条の２第２項関係　幼一種）

（１）領域及び保育内容の指導法に関する科目　　〇印は幼免必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 子どもと健康 | | 2 | |
| 子どもと人間関係 | | 2 | |
| 子どもと環境 | | 2 | |
| 子どもと言葉 | | 2 | |
| 子どもと音楽遊び | | 1 | |
| 子どもと造形遊び | | 1 | |
| 〇子どもと遊び | | 2 | |
| 子どもと運動遊び | | 1 | |
| 〇保育内容総論 | | 1 | |
| 〇保育内容（健康） | | 1 | |
| 〇保育内容（人間関係） | | 1 | |
| 〇保育内容（環境） | | 1 | |
| 〇保育内容（言葉） | | 1 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○保育内容（表現） | | 1 | |
| 保育内容（音楽表現） | | 1 | いずれか1科目選択必修 |
| 保育内容（造形表現） | | 1 | |
| 保育内容（身体表現） | | 1 | |

（２）教育の基礎的理解に関する科目等　　○印は幼免必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ○教育原理 | 2 | | |
| ○保育者論 | | 2 | |
| ○子どもの発達と学習の心理学 | 2 | | |
| 発達心理学Ⅰ(総論) | 2 | | |
| ○特別支援教育論 | 2 | | |
| ○教育課程論 | | 2 | |
| ○教育技術論（児童文化財研究）Ⅰ | | 1 | |
| 教育技術論（児童文化財研究）Ⅱ | | 1 | |
| ○子どもの理解と援助 | | 1 | |
| ○発達・教育相談の方法と実践 | | 1 | |
| 発達・教育相談の基礎 | | 2 | |
| ○幼稚園教育実習指導Ⅰ | | 1 | |
| ○幼稚園教育実習指導Ⅱ | | 1 | |
| ○幼稚園教育実習Ⅰ | | 2 | |
| ○幼稚園教育実習Ⅱ | | 2 | |
| ○総合実践演習（保･幼･小） | | 2 | |

（３）大学が独自に設定する科目　　○印は幼免必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ○音楽Ⅰ | | 1 | 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて１４単位以上を修得 |
| 音楽Ⅱ | | 1 | |
| 音楽Ⅲ | | 1 | |
| 表現概論 | | 2 | |
| 保育者実務論 | | 2 | |
| キリスト教と子ども学 | | 2 | |
| 保育フィールドワーク | | 1 | |
| 運動遊び実践 | | 1 | |

（４）教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目　　○印は幼免必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ○日本国憲法 | | 2 | |
| ○健康・スポーツ科学理論 | | 2 | |
| ○健康・スポーツ科学実習Ａ | | 1 | |
| First-year English ＡⅠ | 2 | | |
| 情報リテラシー | 2 | | |

別表２（第９条の２第２項関係　小一種）

（１）教科及び教科の指導法に関する科目　　○印は小免必修

| 授　業　科　目 | 単位数 必修 | 単位数 選択 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ○国語表現 | | 2 | |
| 小学校社会科 | | 2 | |
| 数の理解 | | 2 | |
| 小学校理科 | | 2 | |
| 小学校生活科 | | 2 | |
| ○小学校音楽 | | 1 | |
| ○音楽Ⅰ | | 1 | |
| 音楽Ⅱ | | 1 | |
| ○図画工作 | | 1 | |
| 小学校家庭科 | | 2 | |
| ○体育 | | 1 | |
| ○子どもの英語 | | 2 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○初等教科教育法（国語） | | 2 | |
| ○初等教科教育法（社会） | | 2 | |
| ○初等教科教育法（算数） | | 2 | |
| ○初等教科教育法（理科） | | 2 | |
| ○初等教科教育法（生活） | | 2 | |
| ○初等教科教育法（音楽） | | 2 | |
| ○初等教科教育法（図画工作） | | 2 | |
| ○初等教科教育法（家庭） | | 2 | |
| ○初等教科教育法（体育） | | 2 | |
| ○初等教科教育法（英語） | | 2 | |

（２）教育の基礎的理解に関する科目等　　○印は小免必修

| 授　業　科　目 | 単位数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|
| | 必修 | 選択 | |
| ○教育原理 | 2 | | |
| ○教職概論 | | 2 | |
| ○子どもの発達と学習の心理学<br>発達心理学Ⅰ（総論） | 2<br>2 | | |
| ○特別支援教育論 | 2 | | |
| ○教育課程論 | | 2 | |
| ○道徳教育の理論と実践 | | 2 | |
| ○総合的な学習の時間の指導法 | | 2 | |
| ○特別活動論 | | 2 | |
| ○教育の方法と技術（ICTの活用含む） | | 2 | |
| ○生徒・進路指導の理論と方法 | | 2 | |
| ○発達・教育相談の方法と実践<br>○発達・教育相談の基礎 | | 1<br>2 | |
| ○小学校教育実習指導<br>○小学校教育実習 | | 1<br>4 | |
| ○総合実践演習（保･幼･小） | | 2 | |

（３）大学が独自に設定する科目

| 授　業　科　目 | 単位数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|
| | 必修 | 選択 | |
| | | | 最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目等」について、併せて２単位以上を修得 |

（４）教育職員免許法施行規則第66条の６に定める科目　　○印は小免必修

| 授　業　科　目 | 単位数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|
| | 必修 | 選択 | |
| ○日本国憲法 | | 2 | |
| ○健康・スポーツ科学理論<br>○健康・スポーツ科学実習Ａ | | 2<br>1 | |
| First-year English ＡⅠ | 2 | | |
| 情報リテラシー | 2 | | |

別表２（第９条の２第２項関係　特支一種）

（１）特別支援教育に関する科目　　○印は特支免必修

| 授　業　科　目 | 単位数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|
| | 必修 | 選択 | |
| ○障害児教育論 | | 2 | |
| ○知的障害児の心理・生理・病理<br>○肢体不自由児の心理・生理・病理<br>○病弱児の心理・生理・病理<br>○知的障害児教育論<br>○肢体不自由児教育論<br>○病弱児教育論 | | 2<br>2<br>2<br>2<br>2<br>2 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ○知的障害児教育総論 | | 2 | |
| ○特別支援教育の教育課程 | | 2 | |
| ○重複障害児教育論 | | 2 | |
| ○発達障害児教育論 | | 2 | |
| ○感覚障害児教育論 | | 2 | |
| ○特別支援教育実習指導 | | 1 | |
| ○特別支援教育実習 | | 2 | |

別表６（第９条の２第５項関係）

保育士資格取得に関する科目及び単位数　　○印は保育士必修

| 授　業　科　目 | 単位数 | | 備　考 |
|---|---|---|---|
| | 必修 | 選択 | |
| ○子ども学概論 | 2 | | |
| ○子ども学フィールドワーク | 1 | | |
| ○子ども学観察演習 | 1 | | |
| ○子ども学フィールド演習 | 1 | | |
| ○情報リテラシー | 2 | | |
| 生命科学入門 | | 2 | |
| ○First-Year English ＡＩ | 2 | | |
| ○健康・スポーツ科学理論 | | 2 | |
| ○健康・スポーツ科学実習Ａ | | 1 | |
| 健康・スポーツ科学実習Ｂ | | 1 | |
| ○保育原理 | 2 | | |
| ○教育原理 | 2 | | |
| ○子ども家庭福祉論 | | 2 | |
| ○社会福祉概論 | 2 | | |
| ○子育て支援論 | 2 | | |
| ○社会的養護Ⅰ | | 2 | |
| ○保育者論 | | 2 | |
| ○発達心理学Ⅰ（総論） | 2 | | |
| ○発達心理学Ⅱ（乳幼児と親の発達心理） | | 2 | |
| ○子どもの理解と援助 | | 1 | |
| ○子どもの保健 | | 2 | |
| ○子どもの食と栄養 | | 2 | |
| ○保育の計画と評価 | | 2 | |
| ○保育内容総論 | | 1 | |
| ○保育内容（健康） | | 1 | |
| ○保育内容（人間関係） | | 1 | |
| ○保育内容（環境） | | 1 | |
| ○保育内容（言葉） | | 1 | |
| ○保育内容（表現） | | 1 | |
| ○子どもと音楽遊び | | 1 | |
| ○子どもと造形遊び | | 1 | |
| ○子どもと運動遊び | | 1 | |
| ○子どもと遊び | | 2 | |
| ○乳児保育Ⅰ | | 2 | |
| ○乳児保育Ⅱ | | 1 | |
| ○子どもの健康と安全 | | 1 | |
| ○障害児保育Ⅰ | | 1 | |
| ○障害児保育Ⅱ | | 1 | |
| ○社会的養護Ⅱ | | 1 | |
| ○発達・教育相談の方法と実践 | | 1 | |
| ○保育実習Ⅰ（保育所） | | 2 | |
| ○保育実習Ⅰ（施設） | | 2 | |
| ○保育実習指導Ⅰ（保育所） | | 1 | |
| ○保育実習指導Ⅰ（施設） | | 1 | |
| ○総合実践演習（保･幼･小） | | 2 | |
| 表現概論 | | 2 | |
| 子どもの発達と学習の心理学 | 2 | | |
| 発達・教育相談の基礎 | | 2 | |
| 特別支援教育論 | 2 | | |
| 子ども理解の心理統計法 | | 2 | |
| 子どもと健康 | | 2 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 子どもと人間関係 | | 2 | |
| 子どもと環境 | | 2 | |
| 子どもと言葉 | | 2 | |
| 保育内容（音楽表現） | | 1 | |
| 保育内容（造形表現） | | 1 | |
| 保育内容（身体表現） | | 1 | |
| 教育技術論（児童文化財研究）Ⅰ | | 1 | |
| 教育技術論（児童文化財研究）Ⅱ | | 1 | |
| 運動遊び実践 | | 1 | |
| 施設実践演習 | | 1 | |
| 音楽Ⅰ | | 1 | |
| 音楽Ⅱ | | 1 | |
| 音楽Ⅲ | | 1 | |
| 保育実習Ⅱ | | 2 | |
| 保育実習Ⅲ | | 2 | |
| 保育実習指導Ⅱ | | 1 | |
| 保育実習指導Ⅲ | | 1 | |